令和元年度

事　業　報　告　及　び　決　算　書

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

目　　次

事業報告

１事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

２事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

３事業区分別事業報告・・・・・・・・・・・・・・・2

公益目的事業１・・・・・・・・・・・・・・・・・2

公益目的事業２・・・・・・・・・・・・・・・・・17

公益目的事業３・・・・・・・・・・・・・・・・・37

収益事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

４文化・スポーツ拠点施設等の管理運営・・・・・44

５庶務・管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

財務諸表

貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58

正味財産増減計算書・・・・・・・・・・・・・・・59

正味財産増減計算書内訳表・・・・・・・・・・・61

財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・・64

附属明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66

財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・67

監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70

❶ 事業概要

令和元年度は、財団が管理する６施設の第４期指定管理期間及び中期経営計画 2019～2022 の開始年度であったため、これまでのノウハウと専門性を最大限発揮できる組織体制の再構築を実施し、安心で安全な組織運営に努めるとともに、1 人でも多くの市民に施設の魅力を再発見していただけるような文化活動、スポーツ活動、埋蔵文化財保存・普及活動を積極的に展開した。

文化振興事業では、国内でも類を見ない長期開催となっている一般公募による市民が主役の「第 26 回市民ミュージカル」公演を行った。また、新たな取組みの一つとして一般社団法人地域創造リージョナルシアター事業として演劇を通したワークショップを実施した。さらに、アウトリーチとして管理施設を飛び出し、市内小学校でのワークショップを開催した。このように幅広い世代の市民が気軽に文化活動に参加できる場として、計 42 事業、延べ 61,430 人の教室・イベント事業を展開した。

スポーツ振興事業では、定着化している折り紙ヒコーキ大会、道後温泉卓球大会をはじめ、天然芝を利用した kazahaya あおぞらフィットネスを開催した。教室・イベントを開催するだけにとどまらず、地域や各種団体との相互協力のもとスポーツを通して地域住民との協調を図りながら、計 61 事業、延べ 56,102 人の教室・イベント事業を展開した。

埋蔵文化財保存・普及啓発事業では、松山市立埋蔵文化財センター・松山市考古館 30 周年記念として「瀬戸内海と松山」をテーマに重要文化財を含む展示や記念特別展「えっ？まつやまに前方後円墳？」などを展開した。また、当センター職員による出張出前講座も 95 回、延べ 7,207 人を数え、小中学生や地域住民への普及啓発活動にも傾注した。郷土の歴史を学ぶことのできる場として、計 14 事業し、延べ 66,168 人の 30 周年にふさわしい特別展、教室、講座などを展開した。

しかし、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による教室・イベント事業中止に伴い延べ約 6,400 人への影響、収益事業であるホール・会議室等の使用料収入約 25,000 千円の減少が発生した。終息の見通しが立たない現在、指定管理者として利用者が安心して快適に利用できるように松山市と連携しながら適切な管理運営に取り組んでいきます。

❷ 事業区分

公益目的事業１　　(42 事業)　　(定款　第４条第１項第１号事業及び第４号事業)

多様な感性や創造力を高める機会や様々な学習機会を提供し、市民が生活に潤いや豊かさを感じることができる環境の実現に努めた。

公益目的事業２　　(61 事業)　　(定款　第４条第１項第２号事業及び第４号事業)

トップアスリートのプレーを直接見る感動、仲間と共に汗を流して感じる充実感や達成感など、市民がスポーツを通じて生活に生きがいや喜びを感じることができる環境の実現に努めた。

公益目的事業３　　(14 事業)　　(定款　第４条第１項第３号事業及び第４号事業)

貴重な埋蔵文化財を後世に伝えるため、土地開発等に際し発掘調査を行い、出土した遺物の保存等を行った。

収益事業　　(4 事業)　　(定款　第４条第２項第１号事業及び第２号事業)

文化･スポーツ施設における公益目的事業以外への貸与及び駐車場・売店の適正な運営に努めた。

❸ 事業区分別事業報告

公益目的事業

公益目的事業１

（１）文化振興に関する事業の企画、実施、調査研究及び普及啓発に関すること
（定款第4条第1項第1号事業）

（２）松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営
（定款第4条第1項第4号事業）

①　公演事業

市民が文化に接し、体感し、魅力を広める機会を提供するために、文化拠点施設であるホール等を活用する自主公演や施設の特徴を活かした活動発表を始め、地域住民が主体となって地域文化を紹介する機会を提供し、これを市民が等しく享受できる事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	第26回市民ミュージカル「アラジンと魔法のランプ～魔法の力で願いを叶えて差し上げましょう！～」				
開 催 時 期	7月14日(日)、15日(月・祝)	回数	4回	会場	キャメリアホール
入 場 者 数	4,010人	前年度入場者数			4,220人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	9,228,000円	9,122,064円			9,540,000円

【内容】

市民の芸能文化への興味を喚起し、文化活動への意識向上を目的として市民から出演者、ボランティアスタッフを広く募集した。オーデイションに合格した出演者は、約4か月間（金・土曜日）専門家による演技・歌唱指導を受けてステージに立ち、市民演者による市民のためのミュージカルを4回上演した。

【結果】　募集定員（　―　人）　応募者数（ 224人）　出演者数（ 153人）

ボランティアスタッフと財団職員も協力し、2日間で計4回の公演を行い、観客数は延べ4,010人であった。舞台は、子どもから高齢者まで幅広い年代層の皆様に観覧いただき、演者の熱意と観客の温かい喝采が市民ミュージカルならではの一体感を醸し出し、成功のうちに終えることができた。
また、本年度より三浦工業株式会社に協賛していただいたため、来年度以降も継続して協賛していただけるよう営業活動を行う。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	コミセンフェスタ　２０２０（市民文化フェスタ）				
開 催 時 期	3月8日(日)	回数	1回	会場	キャメリアホール・コミュニティプラザ 外
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			3,000人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,872,000円	235,238円			0円

【内容】

本事業は、文化とスポーツを同時に体験できるイベントとして、吹奏楽コンサート、書道パフォーマンス、市民文化団体発表会、キッズスポーツフェスタ、こども館クラブによる遊びを通じて「触れて、感じて、学んでもらう場」として文化・スポーツが薫るまちづくりを推進するものである。

【結果】

キャメリアホールでの吹奏楽コンサート・書道パフォーマンスは、入場者は1,000人の申し込み、体育館でのキッズスポーツフェスタは定員150人のところ227人の申し込みがあるなど大変好評であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止となった。返金作業等を行ったが、大きな問題なく、滞りなく終えた。

＜① 公演事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**星の音楽会 ～幼児と楽しむクラシックコンサート～**				
開 催 時 期	6月16日(日) 2月24日(月･祝)(中止)	回数	2回	会場	コスモシアター
入 場 者 数	247人	前年度入場者数			604人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	420,000円	129,762円			126,000円

【内容】

クラシック音楽に接する機会が少ない乳幼児と保護者を対象としたプロによる演奏会を実施した。プラネタリウムの星空のもと親しみやすいクラシック音楽や童謡等、季節に合わせた楽曲を演奏した。当事業は、乳幼児期の情操教育を目的に、普段はコンサートに行きづらい子育て世代が、参加しやすいコンサートとして開催した。

【結果】

6月の演奏会は、定員に近い応募があった。（定員：280人、応募278人、参加247人）
2月の演奏会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。（定員：280人、応募348人、参加0人）コンサート後に、こども館の遊具の利用やコスモシアター番組の観覧がされており、施設のPRと活性化に大きく貢献した。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**コスモシアター上映事業**				
開 催 時 期	通年	回数	1,336回	会場	コスモシアター
入 場 者 数	22,310人	前年度入場者数			23,652人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	9,252,569円	8,963,064円			4,763,210円

【内容】

惑星や星座等を題材にし、幼児をはじめ、子どもや家族連れに人気があるキャラクターが登場するデジタル番組を上映した。
【上映番組】クレヨンしんちゃん、ちびまる子、ポケモン、はなかっぱ　外

【結果】

夜空に輝く星や星座に関する番組を上映し、一般市民はもとより学校や幼稚園・保育園、福祉施設など多くの団体に、天文等について楽しみながら学べる機会を提供した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月10日より臨時休館となり、回数、入場者数が減少した。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	Dance Battle in Matsuyama vol.7				
開 催 時 期	1月18日(土)、19日(日)	回数	1回	会場	中ホール 外
入場者数	622人	前年度入場者数			567人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,200,000円	1,185,971円			1,208,500円

【内容】

本事業は国内の著名なストリートダンサーを審査員として招き、小学生から大人までが見て踊って楽しめるストリートダンスの大会である。ストリートダンスを楽しむ市民を増やし、参加者の技能向上を図ることを目的とする。種目は、1対1で競うソロバトルのほか、2人以上で踊るコンテスト、10人以上のチームで踊りを披露するショーケースを行った。また大会前日には、ワークショップも開催した。
〔参加料：2,000円、入場料：(前売)1,500円／(当日)2,000円〕

【結果】

市内高等学校のダンス部やダンススクールへの積極的な声掛けや、ワークショップを前日に3回行った結果、市内参加者が2割増加した。622人の参加があった（参加者315人・観覧者307人）。

＜① 公演事業＞

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**劇団四季「こころの劇場」松山公演**				
開 催 時 期	2月18日(火)	回数	2回	会場	大ホール
入 場 者 数	2,878人　(2回公演)	前年度入場者数			3,178人(2回公演)
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	600,000円	599,380円			0円

【内容】

劇団四季との共催事業として本格的ミュージカル『こころの劇場』の開催サポートを行った。同事業は、市内の小学6年生を無料招待し、プロの俳優によるミュージカルを鑑賞することで「命の大切さ」「人を思いやる心」「信じ合う喜び」など、人が生きていくうえで最も大切なものを会得していただくことを目的に開催した。

【結果】

松山市内の小学校から31校の参加があり、26年ぶりの新しいファミリーミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」を児童2,731人と教員147人に観劇していただいた。公演中は俳優と一緒に歌うシーンがあるほか、随所に子どもたちを飽きさせない演出があった。こうした事業は、日常生活では味わえないミュージカルの素晴らしさや楽しさを子どもたちに知ってもらえる良い機会となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**第28回 野外活動センターまつり**				
開 催 時 期	10月20日(日)	回数	1回	会場	野外ステージ ダイニングシェルター及び周辺
参 加 者 数	2,500人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,371,000円	870,089円			97,300円

【内容】

松山市青少年団体連絡協議会や五明地区の主要団体との協働による、全年齢を対象としたオープン型の集客イベント。地元五明地区をはじめ各種団体の出演によるステージプログラム、クラフトや陶芸の絵付けなどの体験事業、そしてカレーライスや焼きそば等の食品バザー（模擬店）などを展開した。

【結果】

関係諸団体のご協力により、過去2回の中止を経て3年ぶりに開催することができた。一部閉所に伴う駐車台数の確保のため、メイン会場を芝生広場から野外ステージに変更した。全体的に小規模かつ出店ブースを炊事棟とダイニングシェルターにまとめることで「祭りの屋台」をイメージした会場レイアウトとした。当日は2,500人の市民に来場いただくことができた。約30年続く文化事業として、各団体との協働作業を通じたコミュニケーション作りなど、本事業の実施意義は大きく、親子で世代を超えて楽しめる事業である。今後もセンター職員をはじめ協力諸団体との協働を通じ、知恵とアイデアを組み合わせた発展が期待される。

② 教室事業

市民のニーズに合わせて各種教室を開催し、市民が文化に出会い、参加する機会を提供する事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**赤ちゃんこえ浴教室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～3月	回数	34回	会場	こども館
延べ参加者数	690人	前年度延べ参加者数			1,256人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	480,000円	348,441円			247,472円

【内容】

0歳、1歳児とその母親、マタニティママを対象に、絵本の読み聞かせやふれあい遊び、紙芝居などを通して、豊かな情操を養う教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 20組×2コース×3期）　応募者数（ 84組）　参加者数（ 160人）　延べ参加者数（690人）

赤ちゃんの感性を育むとともに、母親同士の交流の場や癒しの空間を提供し、子育て支援の一つとして行っている事業であり、参加者から好評を得ている。講師が自身の子育て経験を踏まえ、新米ママさんに寄添う内容となっているため、今後も内容や開催時間等、参加者に配慮しつつ、こども館で行う教室の基幹事業として継続する。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**わくわくサイエンス教室**				
開 催 時 期	通年	回数	5回×2期	会場	こども館
延べ参加者数	252人	前年度延べ参加者数			278人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	190,000円	151,826円			199,040円

【内容】

科学実験のおもしろさを世界の偉人の功績から学び、科学を身近に感じて興味をもってもらう教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 30人×2期）　応募者数（92人 ）参加者数（69人）延べ参加者（252人）

学校の教科書には載っていない「ベンハムのコマの実験」「みそつくり科学体験」「アルキメデスの原理を使ったゴム動力潜水艦をつくろう」をはじめ、西条市や新居浜市で行う「課外授業」など趣向を凝らした様々な体験ができるため、前・後期ともに定員を上回る応募があり実施した。
なお、後期の最終回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**工　作　教　室**				
開 催 時 期	土･日･祝日･学校長期休暇	回数	140回	会場	こども館
参 加 者 数	3,076人	前年度参加者数			3,508人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,140,000円	902,790円			1,006,830円

【内容】

土曜日･日曜日・祝日及び小学校の長期休暇期間中に子どもを対象とした「こま」や「けん玉」などの伝統的なおもちゃをはじめ、様々な手作りおもちゃの作り方を指導する教室を開催した。

【結果】　参加者数（ 3,076人）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日から31日の間、中止となった。そのため、参加者数は昨年度に比べて432人減少、参加料収入も26,509円の減収であった。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**カルスポカレッジ**				
開 催 時 期	6月～8月、9月～10月(2部)	回数	12回	会場	大会議室
延べ参加者数	455人	前年度延べ参加者数			614人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	554,000円	399,550円			190,000円

【内容】
　平成4年より市民への学習機会の提供および学習意識の啓発に資するため、歴史、文学、芸術、健康、暮らしなどの体験などを含め、各界の有識者を講師に招き市民の要望に応える学習講座を開催した。

【結果】　募集定員　1部（ 100人）　応募者数（ 62人）　参加者数（ 61人）
　　2部（ 100人）　応募者数（ 37人）　参加者数（ 37人）

　新たなジャンルを講義に取り入れたものの、参加者数は1・2部ともに定員を下回った。
この事業は、様々な分野の導入部分を勉強・体験することができることから人気を博してきたが、高齢化により、リピーターの参加者が減少したと思われる。
　来年度以降は、「松山大学・カルスポ公開講座」や松山市考古館の「歴史教室」へ 統合し、各事業で特色ある講義を開催することで、魅力ある事業に努めていきたい。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**ふれあい将棋大会**				
開 催 時 期	8月4日(日)	回数	1回	会場	大会議室
参 加 者 数	148人	前年度参加者数			158人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	150,000円	150,000円			0円

【内容】
　自由参加の将棋大会を開催し、市民が日頃鍛錬した腕前を披露してもらうとともに、日本将棋連盟のプロ棋士を招聘し、アマチュア（市民）とプロ棋士との直接対局やプロによる指導を受けることで将棋を通じた交流を図った。

【結果】
　対局参加者は、昨年度より若干の応募者減（昨年105人→今年98人）であるものの、充実した将棋事業を展開できた。段位の近い同士が、世代を越えて対局を楽しめる大会であり、財団の文化事業ではあまりない三世代交流の場を提供することができた。
　また、プロとアマチュアのコマ落ち対戦では、地元有望アマチュア（小学5年生）がプロに勝ち、大いに盛り上がったほか、地元出身の黒田プロも参加し、後輩たちの指導を行った。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター、松山市民会館				
事　業　名	**【新規事業】リージョナルシアター事業（小学生表現力アップ教室）**				
開 催 時 期	7月24日(水)、25日(木) 1月28日(火)、29日(水)	回数	5回	会場	小ホールほか
延べ参加者数	120人	前年度延べ参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	150,000円	182,756円			13,500円

【内容】
　(一財)地域創造のアーティスト派遣補助金事業 「リージョナルシアター事業」を活用し、著名な演出家（俳優）多田淳之介による演劇を通したワークショップを行うことで、市内の小学生や一般市民に文化芸術を活用した新しい取組（自己表現力アップ）の体験のほか、事業の有効性や理解度を高めるため、インリーチ（内部を対象としたワークショップ）を実施した。

【結果】
　7月24日～25日、1月28日～29日の2回、演劇アーティストのワークショップを行った。
【1回目】①小学4年から6年生対象の『演劇をつくるワークショップ』（27人：応募50人）
　　②財団職員、市職員（文化・ことば課）対象のワークショップ体験（インリーチ）
【2回目】①東雲小学校で、4年生対象の演劇をつくるワークショップ（アウトリーチ）
　　②高校生以上対象の『自分たちの街を劇にするワークショップ』（19人：応募22人）
　　③財団職員と市職員（文化・ことば課）による企画作成

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**【新規事業】バックステージツアー**				
開 催 時 期	1月12日(日)、2月17日(月)	回数	1回	会場	大ホール
参加者数	39人	前年度参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	180,000円	92,028円			19,500円

【内容】
　大ホールの舞台裏を案内するバックステージツアーとして、施設見学や照明・音響機器の操作体験等のほか、劇団四季のミュージカルリハーサルを見学した。
　舞台芸術に触れる機会を提供することで、市民に理解と関心を持ってもらい、将来の文化芸術の発展に寄与することを目的とする。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 41人）　参加者数（ 39人）
　小学生から大人まで幅広い年齢層の参加者に普段入れない舞台地下の作業スペース（迫、奈落）を見ていただくとともに、財団職員から舞台・音響・照明の説明を受け、舞台の仕組みや手法について知識を深めてもらうことができた。
　また、2月17日に行われた「劇団四季 こころの劇場リハーサル」に18人が参加し、一流の演劇舞台を見学いただいた。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**ゴスペル教室**				
開 催 時 期	5月～3月	回数	48回	会場	リハーサル室 外
延べ参加者数	1,735人	前年度延べ参加者数			2,156人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,500,000円	871,753円			999,375円

【内容】
　参加者が大人数で楽しく大きな声で歌うことでストレスを発散し、歌が好きになることを目的に開催した教室（全8回）。5～7月・10～12月・1～3月の3期で、それぞれ午前コースと夜間コースを開催した。第1期・第2期の教室終了後には午前・夜間コース合同の発表会を開催した。

【結果】　募集定員(各コース50人×3期)　応募者数(午前139人、夜間86人)　参加者数(午前130人、夜間79人)
　本年度は、午前と夜間の2コースを開催し始めて4年目となり、20～30代の若年層が師事する先生の専門的なゴスペル教室に移動することで、参加者数が前年より38人減少となった。また、第1期の合同発表会を市民会館中ホールで開催し、第1期はゲストとしてゴスペル教室出身者で結成された「All love chior」に出演していただき、ゴスペルコンサートとして開催した。第2期は教室参加者のみで城山公園本丸広場にて開催した。多くの観光客や市民の方に青空のもと松山城をバックにしたゴスペルの歌を楽しんでいただいた。特に屋外での発表については、たまたま天候に恵まれたこともあり、参加者から非常に好評であった。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**ペン習字教室**				
開 催 時 期	5月～11月	回数	16回	会場	第5会議室 外
延べ参加者数	304人	前年度延べ参加者数			270人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	250,000円	190,166円			188,000円

【内容】
　日本ペン習字研究会師範による初心者を対象にしたペン習字教室（全8回）を2期開催した。文字を書く機会の減少で、書くことへの苦手意識が多くの人たちに芽生えてきている状況の中で、自信をもって文字を書けるよう指導することを目的とする。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 40人）　参加者数（ 38人）
　本年度で3年目となるペン習字教室は、安定した人気を保っている。参加人数は前年度をわずかに下回る、38人であった。初回、ひらがなの練習から始まり、第2回目以降は、参加者が事前に練習してきた文字を講師に丁寧に添削してもらいながら指導を受け、自宅などでゆっくり時間があるときに練習できる方法が好評であった。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**カメラ教室**				
開 催 時 期	5月～6月、10月～11月	回数	11回	会場	第5会議室 外
延べ参加者数	180人	前年度延べ参加者数			63人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	120,000円	131,910円			160,000円

【内容】

デジタルカメラを愛用する初心者を対象に、講師から様々な基礎知識や一歩進んだ撮影技術等を教えてもらうことで、カメラや写真に対する興味を深めていただくことを目的に開催した。

【結果】　募集定員（ 20人・15人）　応募者数（ 24人・13人）　参加者数（ 20人・12人）

本年度で3回目となるデジタルカメラ教室は、昨年度を上回る20人に参加していただいた。講座の目標は「脱オート」であり、全てをカメラ任せにせず、少しでも自分から意図した写真を撮れるようになることであり、毎回授業の初めに前回のおさらいをして、少しずつではあるが確実に「脱オート」を目指していった。受講者間のやり取りは非常に活発で、写真に取り組む意識の高さを感じさせる結果となった。

また、初心者向け教室受講者の多くから、より高度な内容が学べる教室受講への要望が寄せられたことから、実践編を開講し好評を得た。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**はじめてのフラダンス教室**				
開 催 時 期	5月～6月	回数	6回	会場	リハーサル室
延べ参加者数	66人	前年度延べ参加者数			36人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	240,000円	65,368円			55,000円

【内容】

心身共にリフレッシュして自分の時間を持てるようになってもらい文化活動の振興並びに、施設の活性化に努めることを目的に開催した。

【結果】　募集定員（ 20人）　応募者数（12人）　参加者数（ 11人）

この事業は、中高年の体力づくりと文化活動への関心を高めてもらうために開催した。特に初心者向けとしたことで、親しみやすく、楽しい教室となったことで、好評をいただいた。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**森の陶芸教室**				
開 催 時 期	6月～8月、11月～12月	回数	3回を1セット×1回	会場	研修室・五明古民家
延べ参加者数	78人	前年度延べ参加者数			27人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	174,000円	105,223円			52,000円

【内容】

地元の陶芸家・美術家の講師を迎え、全3回コースでお皿やコップ等を製作する陶芸教室を通じて、物を作る楽しさや喜びを体感に加え、野外活動センターの自然や施設のPRも目的として開催した。

【結果】　募集定員（ 20人×2コース）　応募者数（ 30人）　参加者数（ 78人）

西日本豪雨の影響で昨年度と同様、研修室と五明古民家を使用しての実施となったが、定員各回20人に対して、1回目12人、2回目14人と定員を下回る結果となった。講師の丁寧な指導により、参加者が満足のいく陶芸作品を制作することができ、付加価値の高い事業であるため、来年度は、ＨＰの充実や松山市内の小学校にチラシを配布する等の方策により、参加者増を目指す。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「春の大収穫祭」**				
開 催 時 期	6月22日(土)	回数	1回	会場	テニスコート下農園
参 加 者 数	56人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	25,000円	29,773円			25,500円

【内容】

じゃがいも掘りを通して作物の育成と収穫を体験し、自然の営みに触れていただくことにより、野外活動の楽しさを体験する場を提供した。

【結果】　募集定員（ 50人）　応募者数（ 95人）　参加者数（ 56人）

広報まつやま・きゃめりあ・ＨＰで募集を行ったことが功を奏し、募集定員50人に対し応募が32組95人となったため、抽選を行い、キャンセルを見込んで24組67人当選とした。その後キャンセルが若干発生したため参加者数21組56人と定員を若干上回った。参加者全員が夢中になり、子どもから大人まで協力しながらじゃがいも掘りに取り組む光景が見られ、楽しい1日を送っていただけた。来年度も同様に取り組んでいく。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**【新規事業】エンジョイホリデーイベント「夏の大収穫祭」**				
開 催 時 期	8月25日(日)	回数	1回	会場	テニスコート下農園
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	20,000円	4,696円			0円

【内容】

とうもろこしの収穫を通して作物の育成と収穫を体験し、自然の営みに触れていただくことにより、野外活動の楽しさを体験する場を提供した。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（218人）

募集定員40人に対し、5倍以上の218人の応募をいただいていたが、作物（とうもろこし）の不作により中止となった。来年度は作物をより収穫が期待できるかぼちゃに変更し、実施する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「秋の大収穫祭」**				
開 催 時 期	11月10日(日)	回数	1回	会場	テニスコート下農園
参 加 者 数	65人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	25,000円	21,205円			29,000円

【内容】

さつまいも掘りを通して作物の育成と収穫を体験し、自然の営みに触れていただくことにより、野外活動の楽しさを体験する場を提供した。

【結果】　募集定員（ 50人）　応募者数（133人）　参加者数（ 65人）

応募は45組133人と大変人気の事業だが、大人だけの申込は4組に限られ9割は”親子”での申込であった。そのため、アンケート(24組)に着目すると「収穫の体験」はもちろんのこと「収穫体験している子どもを見守る」もしくは「子どもと同じ時間を過ごす」という価値提供に意味があると考えられる。さつまいもの生育管理は比較的簡単であり、”体験”をコンセプトとした事業としてだけでなく、”野外活動”という施設特徴を生かした事業として継続できる。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「ホタル観察」**				
開 催 時 期	6月上旬	回数	1回	会場	林間教室及び親水広場
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			36人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	5,000円	0円			0円

【内容】

センター親水広場に生息するホタルを観察することにより、自然に親しみながら情緒風情を楽しみながら、生態や生息環境等を学ぶ機会の提供を目的に開催した。

【結果】　募集定員（ 50人）

6月上旬に開催を予定していたが、西日本豪雨により会場の林間教室及び親水広場が閉鎖になったままであり、中止となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「お月見会」**				
開 催 時 期	10月12日(土)	回数	1回	会場	雨天キャンプファイヤー場 研修室
参 加 者 数	66人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	16,000円	18,683円			25,600円

【内容】

周りに夜間照明が少なく、晴天時は星を数多く見ることができる、施設特性を活用した事業。「月見団子作りと団子を食しながら、中秋の名月を観望する」という風情ある事業を通じて、参加者に日本古来の風習に親しんでいただいた。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（149人）　参加者数（ 66人）

毎年応募が多い事業の一つである。定員40人対し43組149人の応募があったため、抽選を行い17組66人の参加となった。本年度はあいにくの曇り空で月見と天体観測ができず、冬の星座に関する座学に変わったが、全員が最後まで残って熱心に講師の話を聞いていた。白玉だんご作りは失敗が少なく、小さい子どもでも比較的作りやすいものであるため、親子で一緒に楽しめる事業として今後も発展が期待される。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「ミニ門松作り」**				
開 催 時 期	12月14日(土)	回数	2回	会場	研修室
参 加 者 数	77人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	48,000円	11,973円			31,800円

【内容】

センター敷地内で採れた竹や松、梅などを使って、お正月用のミニ門松を作った。日本古来の風情のひとつである門松作りは、季節感を取り入れた野外活動センターならではの事業である。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（ 87人）　参加者数（ 77人）

午前と午後の2部に分けて定員各40人で募集を行い、参加者は午前の部14組28人、午後の部17組49人の計31組77人であった。お正月用の飾りである門松を手作りで作製でき、参加料が低価格で参加者の満足度も高く人気の事業である。また、材料もセンター敷地内の資源を活用し、講師も職員が行うため低コストで実施ができる事業であり、文化的な側面からも今後も継続発展が期待される。

＜② 教室事業＞

施　設　名	その他の施設				
事　業　名	**松山大学・カルスポ公開講座**				
開 催 時 期	10月2日(水)～12月18日(水)	回数	12回	会場	松山大学樋又キャンパス
延べ参加者数	1,294人	前年度延べ参加者数			1,548人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	801,000円	815,015円			270,000円

【内容】

市民に多くの学習機会を提供するため、昭和47年に青少年センターで始まったこの講座は、その後松山大学に移り、平成15年から生涯学習財団に移行され、現在に至っている。

松山大学との連携で、大学教授をはじめ多彩な講師陣で行う一般教養講座は、非常にリピーター参加が多い人気事業となっている。（受講料 2,000円）

【結果】　募集定員（ 150人）　応募者数（ 143人）　参加者数（ 135人）

「新時代の幕開けと地域活性化」をテーマに、松山大学の教授や愛媛県内の企業経営者、さらに県外で実績のある企業の方々を講師に招き、地域活性化等の講義を行った。

施　設　名	その他の施設				
事　業　名	**松山シルバーコーラス事業**				
開 催 時 期	6月～3月	回数	75回	会場	中央公民館
延べ参加者数	8,251人	前年度延べ参加者数			9,039人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,620,000円	1,296,000円			1,398,000円

【内容】

高齢者の生きがいづくりと音楽振興に寄与するため、6月から夏休み期間を経て翌年の3月までの約半年間、毎週1回、音楽講師の指導の下で練習を行い、3月に市民会館でのコーラス発表会を行う。定員：1クラス200人　全3クラス

【結果】　募集定員（ 540人）　応募者数（ 481人）　参加者数（ 466人）

平成元年から続いている事業でリピーター参加者も多く、本年度も466人の参加があった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、閉校式を含む最後の練習会と毎年3月に実施していた合同発表会は、中止となった。（※各クラス24回で終了）

③　体験事業

主に長期休み期間や週末に児童や親子を対象として、手作り体験や実地体験などを通して様々な種類の文化に共感し、また文化への関心を高めるための機会を提供する事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズジョブまつやま2019**				
開 催 時 期	12月8日(日)	回数	1回	会場	全館(一部除く)
参 加 者 数	4,506人	前年度参加者数			4,619人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,000,000円	1,000,000円			0円

【内容】

市内の小中学生に仕事の意義・仕組み・やり方を体験することにより、働くことの楽しみや厳しさを学び、関心のある職業への理解を深め、どんな人生を歩みたいかを考えるきっかけになることを目的とする。
コミュニティセンターを全館使用し、松山市小中学校ＰＴＡ連合会と共同して事業を行った。

【結果】　募集定員（ 1,567人）　応募者数（ 3,376人）　参加者数（ 4,506人）

当日は晴天に恵まれたため移動等も大きな混乱なくできた。本年度は7企業が日程の都合で辞退となったものの6つの企業の新規協力があり、昨年度と同等の事業ブースを確保できた。
一部の出展者から受入人数の制限要望があったため、参加人数は昨年度より減少した。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**こども館イベント（季節体感イベント）**				
開 催 時 期	随時	回数	14回	会場	こども館
延べ参加者数	2,236人	前年度延べ参加者数			1,978人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	132,000円	154,794円			129,750円

【内容】

季節工作（季節に合わせた物つくりを開催）
4月　ミニこいのぼり作り　　5月・6月　母・父の日のプレゼントをつくろう等
8月　缶バッチを作ろう　　9月　ミニティッシュケースを作ろう
11月　松ぼっくりツリー　　12月　しめなわ作り
2月　ひな飾りをつくろう　　3月　缶バッチを作ろう(中止)

【結果】　参加者数（ 2,236人）

季節に合わせたもの作りを通して、子どもたちに「作る喜び」、「文化にふれる楽しさ」を感じてもらうことができた。今後も、より充実した事業を企画立案し、積極的な事業の展開を図る。
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月20日の缶バッチ作りは中止となった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**こども館イベント（小学生天文教室）**				
開 催 時 期	7月22日(月)、1月5日(日)	回数	2回	会場	こども館
参 加 者 数	18人	前年度参加者数			29人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	92,000円	83,170円			54,000円

【内容】

市内の小学4年から6年生までを対象にこども館内での工作や科学実験を行い、科学への関心を高めた。

【結果】　募集定員（30人）　参加者数（18人）

この事業は、小学4年から6年生を対象に、夏休みに科学に興味を持ってもらう事業で、手作り天体望遠鏡作成と、星の観察方法の解説、夏休みの自由研究等の題材として提供した。
夏季は「広報まつやま」による周知ができず定員に達しなかったため、冬休みに再度開催した。

＜③ 体験事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	こども館イベント（おもちゃ病院）				
開 催 時 期	5月12日(日)、8月4日(日)、12月1日(日)	回数	3回	会場	こども館
参 加 者 数	98人	前年度参加者数			120人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	18,000円	16,800円			0円

【内容】

壊れているおもちゃを、おもちゃドクターが治療（修理）する「おもちゃ病院」を年3回「開業」した。自分の大事なおもちゃが治療されていく過程を見学し、物を大切に扱うことを学ぶ事業である。おもちゃドクターは、「木工技師」、「歯科技工士」、「電気工事技師」など様々な有資格者があたった。

【結果】　参加者数（ 98人）

毎回好評をいただいているイベントであり、本年度も多くの「患者」が来場した。目の前で壊れた大切なおもちゃが修理された事に対する喜びとともに、子どもたちの好奇心を満たすことができた。今後も円滑な運営を展開し、更なる充実を図る。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	星空観望会				
開 催 時 期	随時	回数	9回	会場	こども館
参 加 者 数	339人	前年度参加者数			324人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	100,000円	40,000円			61,800円

【内容】

こども館の屋外で、解説を交えながら惑星や星座等を天体望遠鏡を使って観察することにより、天文や宇宙への興味を高めてもらう機会の提供を図った。

【結果】　募集定員（500人）　応募者数（339人）　参加者数（339人）

本事業は、実際の星空を観察するものであり、開催にあたっては天候に左右されやすく、雨天・曇天の場合に中止となることがあったため、上半期終了時に下半期の開催数を増やした。
中秋の名月でテレビ局1社、また、部分日食観望会でもテレビ局1社が取材に来館した。
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月28日の観望会は中止となった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	わがまち工房事業				
開 催 時 期	8月8日(木)、12月22日(日)	回数	2回	会場	こども館
参 加 者 数	3,108人	前年度参加者数			1,981人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	700,000円	464,464円			0円

【内容】

平成28年度に松山市の「笑顔のまつやま　わがまち工房」の提言を受け、工房メンバーも参画した「こども館クラブ」が主体となり、子どもから大人まで楽しめるイベント等を開催することで、市民との協働による継続したこども館の活性化を図った。

【結果】　募集定員（ ― ）　応募者数（ ― ）　参加者数（3,108人）

まつやまこどもの日（8月8日）に開催したイベントは、「みんな集まれまるごとチャレンジこども館」と題し、14ブースを設け、2,200人の参加があった。また、12月22日にも小規模なイベントを行い、908人の参加があった。

＜③ 体験事業＞

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**伝統文化こども伝承事業「小学生おけいこ きょうしつ」**				
開 催 時 期	7月22日(月)～8月28日(水) 12月25日(水)～1月4日(土)	回数	30回	会場	小ホール 外
延べ参加者数	631人	前年度延べ参加者数			604人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	957,000円	742,062円			420,000円

【内容】

市内及び近郊の小学生を対象にした将棋・礼儀作法・お琴・三味線・落語・競技かるたなど6種目の体験教室を開催することで、小学生に伝統文化に触れる機会を提供し、日本の伝統文化の活性化や後継者の発掘・育成を図った。（各教室とも受講料3,000円）

【結果】　募集定員（ 170人 ）　応募者数（　154人 ）　参加者数（　140人 ）

小学生おけいこきょうしつは、昨年度に比べ参加者数が6人少なかったものの、延べ参加者数は昨年より27人多く、興味を持ち熱心に参加しているのがわかった。本年度は、夏休みだけでなく冬休みに新しい競技かるた教室を開催した。教室は、3年または5年を目途に種目を入れ替えており、話題性や時代のニーズに合った教室を実施することによって、日本の伝統文化をより身近に感じていいただくことが必要と感じた。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**【新規事業】ＧＷを遊びつくそう！**				
開 催 時 期	4月～5月	回数	3回	会場	リハーサル室
参 加 者 数	59人	前年度参加者数			－
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	―	75,178円			29,500円

【内容】

ゴールデンウイーク期間中に文化や芸術に関する体験教室を小学生向けに開催することで、市民会館を楽しんで利用するきっかけにしていただくことを目的に開催した。

【結果】　募集定員（160人）　応募者数（62人）　参加者数（59人）

小学生を対象に「いろんな国の文化やことばを知ろう！」「ダンスを楽しもう！」「楽器に触れてみよう！」の3コースを用意して初めて開催した。ことば・ダンス・楽器の各分野の専門家に直接教えていただいたことで、普段の学校生活では体験できないチャレンジができたと保護者からも好評をいただいた。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**タケノコ掘りまつり**				
開 催 時 期	4月14日(日)、21日(日)、27日(土)、5月3日(金･祝)	回数	4回	会場	タケノコ山　外
参 加 者 数	774人	前年度参加者数			824人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	215,000円	75,733円			341,000円

【内容】

センター内の竹林でタケノコ掘りを体験し、タケノコ料理を味わっていただくことで参加者の交流・親睦を深め、自然に親しむきっかけとする事業として実施した。

【結果】　募集定員（ 200人×4回）　応募者数（ 955人）　参加者数（ 774人）

参加者は774人で前年度比94%であった。本年度は裏年（「うらどし」＝不作の年）、と言われていたが、本年度も比較的大きなタケノコを収穫することができた。毎年参加されている方のほか、お子様の経験のために参加した、とご家族で参加されるグループが多いことも本事業の特徴の一つとなっている。本年度は、五明地区まちづくり協議会がバザーを行い、タケノコ弁当等を提供し好評であったことから、今後も同協議会と連携し、地元交流も深めていきたい。

＜③ 体験事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**森のやすらぎ親子アート**				
開 催 時 期	5月26日(日)、8月22日(木)、12月1日(日)	回数	3回	会場	野外ステージ、研修室
延べ参加者数	105人	前年度延べ参加者数			53人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	144,000円	131,530円			52,500円

【内容】

野外活動センターの魅力ある自然環境を活かし、固定概念にとらわれない自由な発想によるアートを親子で体験する場を提供した。

【結果】 募集定員(30人×3回)　応募者数(1回目41人、2回目44人、3回目44人)
参加者数(1回目39人、2回目33人、3回目33人)

体調不良などによる当日キャンセルも比較的多い。（本年度24人）事業の内容は非日常的な創作要素が多く、アンケートに協力いただいた家族の97％から「満足」と回答があり、”家ではなかなかできない””好きに汚れても大丈夫”などの感想が記入されている。施設特徴を活かしたユニークな事業として、今後も発展が期待される。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「ふたご座流星群観望会inレインボー」**				
開 催 時 期	12月14日(土)	回数	1回	会場	野外ステージ、研修室
延べ参加者数	96人	前年度延べ参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	4,000円	4,134円			9,600円

【内容】

野外活動センターは市街地と比較し、周囲の光が少なく天体観測に適している。この環境を活用し、年間最大の流星群の観察を通じて、市民に天体観測に慣れ親しむ機会を提供した。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 122人）　参加者数（ 96人）

募集定員40人のところ予想を上回る122人からの応募があった。会場を野外ステージ前の芝生とすることで、150人程度の参加も可能である。本年度はあいにく月が明るく観測条件に恵まれなかったが、天体望遠鏡を使った天体観測と、冬の星座についての講師の解説などを興味深く楽しまれていた。観測条件さえ整えば、満足度の高い事業である。

④　展示事業

市民が実施している文化活動の成果を、多くの人たちに展覧することによって、文化への共感を広げ、出会い、伝える機会を提供する。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**カルスポロビー展**				
開 催 時 期	通年	回数	―	会場	コミュニティプラザ
参 加 者 数	―	前年度参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	―	―			―

【内容】

様々な文化活動の成果物をコミュニティプラザのオープンスペースに展示し、来館者に楽しんでいただくとともに財団事業のＰＲを行うものである。

【結果】

財団が行う各施設の事業案内や活動状況がわかるパンフレットや写真等を展示し、訪れた市民に文化活動の楽しさを伝え、事業のＰＲを行った。
また、考古館のエントランスで展示している「古代ハス」の開花状況を写真で紹介し、来館者に楽しんでいただくとともに管理施設の来館者数向上を図った。

⑤　情報提供事業　（他事業と共通）

財団が実施する事業内容や参加者の声などを紹介し、文化活動の魅力を広く紹介する事業を実施する。

市民の文化やスポーツへの関心を高めるとともに、財団事業のPR、利用者への利便性向上のために、財団の主催事業や各施設でのイベントを紹介する「きゃめりあ」を発行した。また、ホームページによる施設情報や文化・スポーツ情報の提供を行うほか、様々なメディアを活用し情報の発信に努めた。

内　　容	実施時期	配布数	決算額
施設情報誌「きゃめりあ」発行	月 1 回	19,200枚	95,175円
ホームページによる施設、事業案内	随　時	―	―
教室のご案内（チラシ）	年１回	30,000部	74,800円

⑥　拠点施設運営事業

市民が日ごろの文化活動の成果をより多くの人たちに発表することによって、文化への共感を広げ、出会い、伝える機会を提供する事業

松山市総合コミュニティセンター

＜1＞施設の貸与事業

キャメリアホール

より多くの市民が文化活動の発表を行なうとともに文化活動に参加できるよう、舞台技術者からの適切な助言・技術サービスや気軽に安心して利用できる場の提供を行なうことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

リハーサル室、練習室１、２、３、こども館

文化活動発表の練習を行うために、気軽に利用できる場の提供を行うことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

松山市民会館

＜1＞施設の貸与事業

大ホール、中ホール、小ホール

より多くの市民が文化活動の発表を行なうとともに文化活動に参加できるよう、舞台技術者からの適切な助言・技術サービスや気軽に安心して利用できる場の提供を行なうことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

リハーサル室、練習室１、２

文化活動発表の練習を行うために、気軽に利用できる場の提供を行うことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

公益目的事業２

（１）スポーツ振興に関する事業の企画、実施、調査研究及び普及啓発に関すること
（定款第4条第1項第2号事業）

（２）松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営
（定款第4条第1項第4号事業）

①　大会事業

市民が、出会い、参加することができるよう様々な競技を取り上げた大会を開催し、スポーツへの関心を一層高める機会を提供する事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	ＣＵＬＳＰＯ ３×３ＣＵＰ				
開 催 時 期	8月4日(日)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
参 加 者 数	180人	前年度参加者数			125人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	150,000円	242,900円			182,000円

【内容】

2020年東京オリンピックの正式種目となったスリーエックススリー大会を開催することで、競技の普及とスポーツの振興を図った。

【結果】　募集定員（ 150人）　応募者数（ 180人）　参加者数（ 180人）

一般男子30チーム、アンダー12男子5チームによるスリーエックススリー（3人制バスケットボール）大会、愛媛オレンジバイキングス所属選手によるクリニックを実施した。

会場内に鳴り響く大音量の音楽やシュート時の効果音、選手名をコールしながら行う実況など、参加者世代にマッチしたスポーツイベントとなった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**坊っちゃんカップ・第13回道後温泉卓球大会**				
開 催 時 期	2月17日(月)～2月19日(水)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ・サブアリーナ
延べ参加者数	1,210人	前年度延べ参加者数			1,195人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	2,155,000円	2,111,775円			2,023,000円

【内容】

近年、中高齢者を中心に普及しているラージボール卓球の全国大会で、松山市立子規記念博物館で前夜祭を開催するなど、スポーツの振興及び道後地区の観光振興を図るスポーツツーリズムである。スポーツを通じて松山の魅力を全国に発信した。

【結果】　募集定員（　―　）　応募者数（ 537人）　参加者数（ 537人）

今大会で13回目と全国的に認知度も高まり、北は北海道、南は佐賀県から26都道府県109チーム537人（県外参加者399人）のエントリーがあった。また、子規記念博物館で実施した前夜祭の参加者は257人、大会事務局を通じた道後温泉界隈の宿泊人数は56人（計88泊）であった。

シングルス・ダブルス競技をあわせた総エントリー数は1,210人で、80歳以上も過去最高の45人となった。引き続き、高齢者が安心して楽しめる大会運営に努める。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**第10回市民スポーツフェスタ**				
開 催 時 期	2月24日(月･振)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
入 場 者 数	中止	前年度入場者数			800人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	2,481,000円	1,520,260円			0円

【内容】

トップアスリートを招聘し、世界レベルの技を見る機会、また直接指導を受ける機会を提供することで、松山市のスポーツ振興を図るものである。

過去に卓球の水谷隼選手、体操の白井健三選手、競泳の萩野公介選手など、様々な競技のオリンピックメダリストをゲストに迎え、子どもたちにスポーツクリニックを実施してきた。

【結果】

リオデジャネイロオリンピック卓球団体銀メダリストの吉村真晴選手と、Tリーグで活躍中の有延大夢選手をゲストとして招聘して実施する予定としていたが、開催日直前に新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

なお、直前の開催中止となったが、ポスター、パンフレット、参加者記念品などの支出が発生した。

＜① 大会事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**空育®JAL折り紙ヒコーキ教室**				
開 催 時 期	10月5日(土)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
参加者数	116人	前年度参加者数			107人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	40,000円	39,218円			23,200円

【内容】

昔ながらの遊び「紙ヒコーキ」を通じ、小学生に「投げる」という全身運動することで基礎体力向上を図った。

【結果】　募集定員（ 160人）　応募人数（ 170人）　参加者数（ 116人）

小学生を対象とした折り紙ヒコーキ教室と、滞空時間を競う記録会を実施し、折り紙ヒコーキを通じて空への夢と交流の輪が広がる事業となった。また、折り紙ヒコーキ協会主催の「第3回ＪＡＬ折り紙ヒコーキ全国大会愛媛予選会」への参加者エントリーに繋がる事業としても成果があった。本事業は民間企業とのタイアップ事業であり、今後も協力体制を築きながら互いにメリットのある事業としていきたい。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター外				
事　業　名	**キッズチャレンジ**				
開 催 時 期	4月～2月	回数	40回	会場	松山市総合コミュニティセンター（体育館サブアリーナ）・中央公園
延べ参加者数	1,003人	前年度延べ参加者数			163人
令和元度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	300,000円	366,156円			514,500円

【内容】

小学生を対象に4月から2月までを3期に分け、週1回のジョギング教室を実施した。
また、毎年、同教室内で参加者を募り、松山市で開催する「えひめ5時間リレーマラソン」「マツヤマお城下リレーマラソン」「坊っちゃんランランラン」にも出場した。

【結果】　募集定員（ 153人）　応募者数（ 215人）　参加者数（ 211人）延べ参加者数（ 1,003人）

財団チーム（カルスポキッズチーム）として「えひめ5時間リレーマラソン」「マツヤマお城下リレーマラソン」「坊っちゃんランランラン」の3大会に出場した。
年間を通じた練習で参加者の能力向上を図った結果、「えひめ5時間リレーマラソン」では、小学生部門で3位入賞を果たすことができ、参加者の満足度向上が図ることができた。
今後も大会参加を通じ、子どもたちにスポーツにチャレンジする楽しみを伝えていきたい。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**レインボーハイランドカップ第6戦 しまなみランニングバイク選手権2020**				
開 催 時 期	2月23日(日)	回数	1回	会場	芝生広場
参 加 者 数	800人(保護者等を含む。)	前年度参加者数			800人(保護者等を含む。)
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,083,000円	1,080,870円			372,000円

【内容】

子どもたちの心身の育成を図り、また、野外活動センター閑散期の活性化を目的として、幼児（2歳から5歳）を対象に、ペダルのない自転車で地面を蹴って進む競技で自転車に乗るための平衡感覚を身に着けつけながら楽しむ大会を開催した。

【結果】　募集定員（ 200人）　応募者数（ 196人）　参加者数（ 186人）

本年度は、競技エントリー186人（昨年度190人）と昨年度に比べ若干減少した。今回で6回目となるが、新型コロナウイルス感染症の蔓延が心配される中、予防に配慮した大会運営となった。会場入口を一か所にし、手指アルコール消毒の徹底、マスク着用等の咳エチケットの徹底を行った。当日は、競技出場選手や観覧者で予想以上の来場をいただくことができた。

＜① 大会事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**【新規事業】野活De竹とんぼ大会**				
開 催 時 期	12月8日(日)	回数	1回	会場	野外ステージ・ダイニングシェルター
参 加 者 数	34人	前年度参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	60,000円	14,005円			10,200円

【内容】

センター場内竹林の竹を活用し、各人で竹とんぼを作ってもらい、滞空時間を競う。野外活動の楽しさを体験する場を提供するとともに、親子で楽しんで取り組める大会を開催し、閑散期に人を集め、利用促進を図った。

【結果】　募集定員（ 100人）　応募者数（ 46人）　参加者数（ 34人）

募集定員は100人としていたが、コミセン主催のキッズジョブと日程が重なっていたこともあり、応募者46人・参加者34人と半数に達せず、十分な集客には至らなかった。内容面は、アンケートによると満足された人が多く、家族で十分に楽しめたものとなった。時間配分も遅延なく順調に進めることが出来たため、来年度も周知方法や開催日時を考慮することにより、参加者を増加させ、更なる発展が期待できる。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**ソフトバレーボール大会**				
開 催 時 期	6月16日(日)	回数	1回	会場	体育館
参 加 者 数	10チーム（62人）	前年度参加者数			10チーム(68人)
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	60,000円	46,866円			45,000円

【内容】

誰もが気軽にできるスポーツとして人気のある「ソフトバレーボール」の大会を開催することにより、多くの女性が気軽に参加できる機会を提供し、スポーツの楽しさを感じてもらうとともに、野外活動センターの更なる利用促進に繋げた。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（ 62人）　参加者数（ 62人）

日頃から体育館を利用いただいているチームを中心に、10チームの参加を得ることができ、滞りなく大会を進行することができた。一方、本年度は参加者のご家族（お子様）が少ないこともあり、バザーの売り上げが対前年比75%となり収支が赤字となった。しかし継続してチームが集まり開催できていることから、レクバレーを楽しまれている参加者にとっては、本大会を通じ日頃対戦したことのないチームと試合ができる等、満足度のあるイベントとなっている。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**アクティブ・チャイルド・プログラムin北条**				
開 催 時 期	11月23日(土･祝)	回数	1回	会場	陸上競技場
延べ参加者数	66人	前年度延べ参加者数			200人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	355,000円	225,432円			33,000円

【内容】

公益財団法人日本スポーツ協会が開発したアクティブ・チャイルド・プログラムを子どもたちに体験してもらい、運動能力及び体力向上を図った。

【結果】　募集定員（ 150人）　応募者数（ 76人）　参加者数（ 66人）　延べ参加者数（66人）

メインの指導者はプログラム制作ワーキンググループメンバーの（公財）日本スポーツ協会スポーツ科学研究室室長代理　青野博氏に依頼をした。またサポート指導は愛媛大学教育学部教授の田中雅人教授と愛媛大学総合型地域スポーツクラブの学生に依頼をした。参加者からは「芝の上で身体を動かすのが楽しかった、今日教えてもらった遊びを学校の友達にも教えてあげたい」「大人も楽しめる内容だった」と言う声もあり参加者からは好評であった。

＜① 大会事業＞

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**第2回スポーツ・レクリエーションフェスティバルin風早**				
開 催 時 期	11月3日(日･祝)	回数	1回	会場	陸上競技場・体育館
延べ参加者数	750人	前年度延べ参加者数			565人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	420,000円	300,000円			0円

【内容】

気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じて市民の交流をさらに深めることにより、明るく生き生きとした活力に溢れ、健康で明るい市民生活の一層の充実に資することを目的とし、北条スポーツセンターにて、各種フィットネス体験、体力測定会、地域交流グラウンド・ゴルフ大会を実施した。

【結果】　募集定員（　―　）　応募者数（　―　）　参加者数（ 750人）

より地域との連携を深め、当センターのみならず松山市北部地域全体の活性化に繋がる事業となることを目指し、第1回開催時にも協力いただいた、北条地区各団体と実行委員会を結成し事業の運営を行った。

ファミリーフィットネスチャレンジでは、松山市内のスポーツクラブで活動中の4人の講師による体験会を実施し、延べ400人が参加した。ファミリーボディチャレンジでは聖カタリナ大学監修のもと各種体力測定を実施し、200人が参加した。またグラウンド・ゴルフ大会には、公民館の協力により、各地区から地域住民150人が参加した。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**第9回タグラグビーチャレンジin風早**				
開 催 時 期	6月8日(土)	回数	1回	会場	球技場・体育館
延べ参加者数	600人	前年度延べ参加者数			600人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	170,000円	169,113円			0円

【内容】

ラグビー競技への取り組みが盛んな北条地区において、ラグビーの基礎となるタグラグビーの交流戦、初心者体験セミナーを行い、市民にスポーツの楽しさを味わってもらい、スポーツの振興に繋げた。

【結果】　募集定員（　―　人）　応募人数（　―　人）　参加者数（ 600人）

松山市を中心に300人を超える方々が交流戦に参加し、子どもから大人まで幅広い層がタグラグビーを通じて交流を深めることができた。初心者体験セミナーでは、過去最高の60人が参加し、タグラグビーの基本やルールを学んだ。参加した子どもたちからは「みんなで協力してボールを運ぶのが楽しかった」「タッチダウンが出来てうれしかった」との声もあり、多くの子どもたちにタグラグビーの魅力を知ってもらうことができた。

交流戦に参加していただいたチームの方にも「様々な年代の人と交流できて良い、年々レベルも上がってきている」という意見もいただき、多くの人たちにスポーツに触れる機会を作り出せた大会となった。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**【新規事業】Kazahayaあおぞらフィットネス**				
開 催 時 期	9月14日(土)	回数	1回	会場	陸上競技場
延べ参加者数	174人	前年度延べ参加者数			－
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	300,000円	62,212円			48,200円

【内容】

北条スポーツセンターの開放感あふれるロケーションの中、県内有数の天然芝で初心者向けのフィットネス教室を開催することで、市民の健康づくりに貢献し、施設利用活性化及びブランディング向上に努めた。

【結果】　募集定員（150人）　応募人数（ 70人）　参加者数（ 66人）　延べ参加者数（174人）

これまで北条スポーツセンターでは室内でのフィットネス教室しか無かったため、天然芝の上で行うフィットネスイベントは新たな試みであった。参加者からは「天然芝は非日常感、贅沢感があってよかった」「屋外でのフィットネスイベントや教室をもっとやってほしい」との意見があり、天然芝グラウンドの新たな利用サービスの提供と、今後のフィットネス教室運営のヒントとなる事業となった。

② 教室事業

（ア　成人対象）　技術の向上、レクリエーションとしての楽しみ、人との共感など、多様な目的や幅広い年齢層に対応する様々な教室を地域ニーズに合わせて提供し、スポーツをツールに市民が健康への関心など生涯スポーツへの意識を高めていくための事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**水泳教室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	186回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	2,132人	前年度延べ参加者数			2,391人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	750,000円	458,354円			405,450円

【内容】

水泳の指導を行うことで成人の健康づくりに寄与する。また、水泳人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげた。

【結果】　募集定員（ 270人）　応募者数（ 266人）　延べ参加者数（2,132人）

募集定員とほぼ同数の応募があった。ほとんどがリピーターの応募であったが、その中でもホームページ、館内でのポスター掲示、チラシの配布、広報まつやまへの掲載を見たことで新規の応募もあった。参加者は高齢者中心ではあるがホームページを見たという人が多いので、今後もホームページの充実を図っていく。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**夜間水泳教室**				
開 催 時 期	4月～6月、7月～9月、10月～12月、1～2月	実施総回数	152回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	1,611人	前年度延べ参加者数			1,746人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	529,000円	351,622円			370,200円

【内容】

水泳の指導を行うことで成人の健康づくりに寄与する。また、水泳人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげた。

【結果】　募集定員（ 240人）　応募者数（ 272人）　延べ参加者数（ 1,611人）

募集定員を超える応募があった。リピーターの応募が多い中で、告知のポスター、チラシに教室の内容を掲げたことで、申し込んだとの声を多く聞くことができた。また、参加の目的としてマスターズ水泳大会、トライアスロン大会に参加したいなど、目標を持って参加する人が多くなっており、指導員にもそれに応じた指導をお願いしたことで応募者数増加に繋がっている。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**水中ウォーキング教室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	96回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	1,494人	前年度延べ参加者数			1,589人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	413,000円	339,588円			293,850円

【内容】

中高年に関節や筋肉のコンディションを向上させる水中運動を指導することで、関節障害の予防・改善を行い、超高齢社会における医療費削減を図った。

【結果】　募集定員（ 180人）　応募者数（ 191人）　延べ参加者数（ 1,494人）

ほぼ高齢者の参加である。プール内を歩くという単調なことを繰り返す教室ではあるが、出席率80％を超え、参加者はこの教室以外の他の日にもプールを利用する人が多い。使用料収入の増加と、運動習慣の定着を図ることができた。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**アクアエアロビクス教室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	33回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	294人	前年度延べ参加者数			668人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	214,000円	181,143円			107,750円

【内容】

水中でのエアロビクスを通じて市民の健康増進を図った。

【結果】　募集定員（　60人）　応募者数（　43人）　延べ参加者数（ 294人）

募集定員に達していない。参加者はほとんど60歳代後半以上の年代である。この年代の人のモチベーションを上げる工夫により参加者増加に繋げていく。水泳教室として、また水中ウォーキングとの併用として提案していき参加者の増加に繋げていく。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**夜間アクアエアロビクス教室**				
開 催 時 期	4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～2月	実施総回数	40回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	524人	前年度延べ参加者数			408人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	239,000円	206,883円			190,500円

【内容】

水中でのエアロビクスを通じて市民の健康増進を図った。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（ 86人）　延べ参加者数（ 524人）

昼間の教室よりも40代、50代の参加者が多く募集定員を超えた。これからも、女性参加者のモチベーションを上げる工夫を専門家である指導員にもお願いし参加者増加に繋げていく。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**フィットネス教室**				
開 催 時 期	4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～2月	実施総回数	594回	会場	体育館（会議室）
延べ参加者数	10,303人	前年度延べ参加者数			10,075人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	4,843,000円	3,629,799円			3,963,000円

【内容】

中高年に関節や筋肉のコンディションを向上させるエクササイズを指導することで、関節障害の予防・改善を行い、超高齢社会における医療費削減を図った。

【結果】　募集定員（ 1,360人）　応募者数（ 1,693人）　延べ参加者数（ 10,303人）

本年度、定員割れの教室はスクラップし人気のある教室を増やすことで、定員に対しての応募者数が大きく増加した。バランスボール、ヨガ、ピラティス等人気が高く、美容や健康を気遣っている参加者が多い。定員を超える応募があり、軌道に乗っている事業である。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**卓 球 教 室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	216回	会場	体育館（メインアリーナ・サブアリーナ）
延べ参加者数	3,088人	前年度延べ参加者数			3,114人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,594,000円	835,936円			1,492,000円

【内容】

卓球の指導を行うことで成人の健康づくりを推進する。また、卓球人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげた。

【結果】　募集定員（ 480人）　応募者数（ 431人）　延べ参加者数（ 3,088人）

参加者は高齢者のリピーターが多く、30代、40代の若い年代の参加が非常に少ない。この年代の人も参加しやすいクラスを作ることで新規の参加に繋げたい。また同時にこれから卓球を始める人には上達が早いことをアピールしていき新規の参加に繋げたい。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**バドミントン教室**				
開 催 時 期	1月～2月	実施総回数	20回	会場	体育館（サブアリーナ）
延べ参加者数	217人	前年度延べ参加者数			332人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	377,000円	432,374円			168,000円

【内容】

バドミントンの指導を行うことで成人の健康づくりを推進する。また、バドミントン人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげた。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（ 31人）　延べ参加者数（ 217人）

実施が夜間の時間帯で、他の利用者の妨げにならないよう配慮し開催している。年2期のみの開催であるが、参加者から回数を増やして欲しいとの意見が多い。来年度は現在4面利用で実施しているのを2面にし、他の利用者も体育館が使える状態にして、回数の増加を図ることでリピーターを増やしていくことに繋げたい。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**健康ダイエット（プロジェクトD）**				
開 催 時 期	6月～10月、11月～2月	実施総回数	30回	会場	体育館トレーニングルーム外
延べ参加者数	252人	前年度延べ参加者数			239人
令和元度度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	250,000円	115,464円			275,000円

【内容】

肥満男性を対象に、運動指導と栄養指導を行い医療費削減(メタボリック症候群予防改善)につながるダイエットプログラムを提供する事業として、健康運動指導士（財団職員）及び管理栄養士（外部委託）が、グループ指導とパーソナル指導を組み合わせて実施した。

【結果】　募集定員（ 20人）　応募者数（ 22人）　延べ参加者数（ 252人）

参加者の減少体重は平均6.2ｋｇで、ほぼ脂肪減少による減量であった。
また、ウエストは平均して8.7ｃｍの減少となり、メタボリック症候群の判断基準である85ｃｍに限りなく近づいてた。参加者で期間中に健康診断を受けた方には降圧効果、血糖値の改善、脂質異常症の改善など、多くの方に医療費削減の効果があった。指導は財団職員の健康運動指導士が行っており市民の医療費削減に貢献している事業である。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**愛媛大学社会共創学部協働事業**				
開 催 時 期	9月～1月	実施総回数	21回	会場	体育館会議室・サブアリーナ
延べ参加者数	671人	前年度延べ参加者数			166人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	240,000円	133,168円			319,000円

【内容】
愛媛大学社会共創学部との協働事業として、学生の成長や社会で活躍できる人材育成を目的に、同大学健康マネジメントコース浅井教授が総合調整、インターンシップ学生が企画と実践指導、当財団は健康運動指導士が学生への指導及び企画アドバイス、実践指導補助、実施会場の日程調整、広報活動等を行った。

【結果】　募集定員（ 130人）　応募者数（ 203人）　参加者数（ 158人）　延べ参加者数（ 671人）

本年度末で、この協働事業の１期生が卒業となったが、当初と比べ子どもの指導や企画立案について格段の成長が見られた。参加した子どもたちから「（指導により）走る自信がついた」など好評な意見があったほか、浅井教授からも「２年間のインターンシップである本事業は、大学カリキュラムとして非常に有意義だった。」と意見をいただくなど、将来のスポーツ指導者を育成するとともに、参加した子どもたちの体力や運動能力向上に繋がる事業となった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**マシン＆フリーウェイト**				
開 催 時 期	6月～11月、1月～2月	実施総回数	8回	会場	体育館トレーニングルーム
参加者数	33人	前年度参加者数			43人
令和元度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	48,000円	726円			6,600円

【内容】
財団職員の健康運動指導士とＮＳＣＡ－ＣＳＣＳ（ナショナルストレングス＆コンディショニングスペシャリスト）が、トレーニング初心者に対し、マシンとフリーウエイトの使い方教室（1回120分）を実施した。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 34人）　参加者数（ 33人）

コミュニティセンター体育館トレーニングルームに設置してある有酸素トレーニングマシン2機種及び筋力トレーニングマシン18機種の使用方法等を指導する教室を実施した。
受講をきっかけにトレーニングルームを定期的に利用される方もおり、施設使用料収入の増加と、市民の運動習慣の定着を図ることができた。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**ワンコインフィットネス**				
開 催 時 期	6月～12月、1月～2月	実施総回数	13回	会場	体育館会議室
延べ参加者数	182人	前年度延べ参加者数			227人
令和元度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	180,000円	69,554円			91,000円

【内容】

ワンコイン（500円）で体験できるフィットネス教室。財団のフィットネス教室の継続的な参加に繋げる事業として、健康運動指導士（財団職員）及び外部指導者が60分の運動プログラムを実施した。

【結果】　募集定員（ 195名）　応募者数（ 204人）　参加者数（ 182人）

財団のフィットネス教室に参加していない方を対象とした体験教室として13回実施した。
全13回中11回は財団職員が指導を行い、職員の能力の活用や向上ができることに加え、本事業の参加者が定期的なフィットネス教室の参加者となるなど、リピーター確保に寄与した。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター　外				
事　業　名	**ランニング事業**				
開 催 時 期	通年	実施総回数	75回	会場	コミセン体育館・松山中央公園
延べ参加者数	2,913人	前年度延べ参加者数			828人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	3,750,000円	1,972,337円			2,077,500円

【内容】

走力別に分かれてグループ走を行う「ジョギング教室」を実施し、走ることを通してスポーツの楽しさや健康増進への関心を高めた。

【結果】　募集定員（ 480人）　応募者数（ 468人）　参加者数（ 439人）　延べ参加者数（ 2,913人）

走力やコンディションによって8段階にグループ分けを行い、各グループに指導員を配置し、参加者に対してきめ細かいアドバイスを行った。
教室参加者同士で県内外のマラソン大会にエントリーするなど、「走る楽しみ」に加え、「仲間との交流を楽しむ」という付加価値も提供することができた。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**アクアチャレンジクラブ**				
開 催 時 期	10月～12月、1月～3月	実施総回数	900回	会場	アクアパレット
延べ参加者数	4,370人	前年度延べ参加者数			3,922人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	8,643,000円	7,860,372円			1,067,200円

【内容】

水泳を通してスポーツと健康増進の関心を高めるとともにプールの利用促進を図るため、初心者から上級者までの水泳指導や水中運動指導などを実施した。

【結果】　募集定員（ 850人）　応募者数（ 642人）　参加者数（ 621人）　延べ参加者数（4,370人）

3月の教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
人気の高い教室と定員割れの教室に二分化される傾向にあるため、参加者の少ない教室は、講師と相談しながら内容等を変更するなど参加者の増加を目指す。

・水泳教室（2,303人）　・ アクアビクス教室（1,109人）
・水中ダンベルビクス教室（263人）　・ ノンストレススイミング教室（175人）
・水中ウォーキング＆ジョギング教室（301人）　・ らくらくバランス体操教室（219人）

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**テ ニ ス 教 室**				
開 催 時 期	毎月開催	実施総回数	247回	会場	テニスコート・屋内運動場・スポーツフロア
延べ参加者数	2,756人	前年度延べ参加者数			2,928人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	4,229,000円	3,284,944円			2,972,000円

【内容】

テニスを通してスポーツと健康増進の関心を高めるとともに、コート予約が少ない時間帯の利用促進を図った。（受講料　１回1,000円）※3回コース、4回コース、5回コースがある

【結果】　募集定員（ 960人）　応募者数（ 860人）　参加者数（ 770人）　延べ参加者数（2,756人）

毎月定員90人(8月は60人)を募集し、成人を対象としたテニス教室を実施した。各月56人から85人の応募(計860人)があり、実際の受講者は、各月44人から77人(計770人)であった。今後も内容の充実を図りながら、施設の確保ができる限り継続して実施する。3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**フィットネス教室**				
開 催 時 期	4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月	実施総回数	251回	会場	スポーツフロア
延べ参加者数	4,663人	前年度延べ参加者数			5,508人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	2,686,000円	2,206,008円			3,102,600円

【内容】

本事業は、ロコモーティブシンドローム（運動器の障害による要介護になるリスクが高い状態）の予防改善を行う事業であり、松山中央公園スポーツフロアで成人を対象に「ストレッチ＆筋トレ教室」、「ピラティス教室」、「体幹シェイプアップ教室」を実施した。

【結果】　募集定員（ 700人）　応募者数（ 610人）　参加者数（ 563人）　延べ参加者数（4,663人）

スポーツと健康増進の関心を高めるとともに、施設予約が少ない時間帯の利用促進を図るために、4期(10回コース/7クラス)で計251回、定員計700人(各期175人)で募集を行い、各期145人～158人（計610人）の応募があった。受講者も各期130人～150人（計563人）とダイエット系教室の人気が伺える結果となった。今後も施設の確保ができる限り継続して実施する。3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**フィットネス教室**				
開 催 時 期	4月～3月	実施総回数	146回	会場	北条スポーツセンター体育館
延べ参加者数	1,464人	前年度延べ参加者数			1,730人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,251,600円	1,046,362円			1,042,800円

【内容】

北条スポーツセンター体育館で成人を対象に健康増進のため、「引き締めフィットネス教室」「健康な身体の軸づくり教室」「はじめてのヨガ教室」「風早元気教室」を実施した。

【結果】　募集定員（ 480人）　応募者数（ 265人）　参加者数（ 243人）　延べ参加者数（1,464人）

参加者数は243人(対前年度比-54人)延べ参加者数は1,464人(対前年度比-266人)となった。アンケートでは9割以上が満足と答え、教室の継続率も約8割と昨年通りであったため、参加者数が減少した理由としては、新規受講者数が減少したことが原因と考えられる。

しかし、参加者の伸び悩んでいた「はじめてのヨガ教室」では参加者が徐々に増え、第4期以降はプラス収支にすることができた。また、「風早元気教室」は継続率が100%と、高い継続率を維持しており、受講者数も39人(対前年度比+4人)と増加している。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**成人スポーツ教室**				
開 催 時 期	4月～3月	実施総回数	46回	会場	北条スポーツセンター体育館
延べ参加者数	404人	前年度延べ参加者数			380人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	385,000円	260,129円			288,000円

【内容】

市民の健康増進を図ることを目的に、北条スポーツセンター体育館で成人を対象の「バドミントン教室」「フラダンス教室」を実施した。

【結果】　募集定員（ 160人）　応募者数（ 70人）　参加者数（ 65人）　延べ参加者数（404人）

参加者数は65人(対前年度比-2人)、延べ参加人数は404人(対前年度比＋24人)となった。参加者数が減少した原因として「優しいフラダンス教室」を2期以降中止としたことがあるが、同教室の収支は赤字であったため、成人スポーツ全体の収支は+27,871円(対前年度比＋52,441円)となった。さらに、バドミントン教室だけでみると参加者数は61人(対前年度比＋14人)と増加している。

＜② 教室事業＞

（イ 親子対象）親子が一緒にスポーツに出会い、親子ともにスポーツや健康に関心を持つ人たちの拡大を目指す事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**親子教室（体操）**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～3月	実施総回数	26回	会場	こども館
延べ参加者数	1,184人	前年度延べ参加者数			1,996人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	672,000円	381,006円			360,564円

【内容】

2歳から3歳児の親子を対象にマット、トランポリン、鉄棒等を使って全身運動する教室を実施することで、親子がコミュニケーションをとりながら、表現力や俊敏性を身に着け、子どもとの相互理解、相互成長を主目的としている。

【結果】　募集定員（ 210組）　応募者数（ 142組）　参加者数（ 256人）　延べ参加者数（1,184人）

母親と一緒にでんぐり返しの練習やトランポリンを使った運動にチャレンジすることで、身体を動かすことは楽しいと感じられるように努め、参加者から好評を得ることができた。3期（各期2コース×6回）で計36回、定員計420人で募集を行い284人の応募があり、256人が受講した。延べ参加者数は1,184人であった。なお、3月は新型コロナウイルス感染症の影響で受講者、参加料ともに減少となった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**親子教室（リズム）**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	20回	会場	こども館
延べ参加者数	734人	前年度延べ参加者数			1,518人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	672,000円	273,521円			248,552円

【内容】

2歳から3歳児の親子を対象に、タンバリンやすず等の楽器を使い音感やリズム感を養成するためリズム教室を開催し、親子がコミュニケーションをとりながら子どもとの相互理解、相互成長を目指した。

【結果】　募集定員（ 210組）　応募者数（ 96組）　参加者数（ 174人）　延べ参加者数（734人）

子どもの健全育成に寄与するこの事業は、参加者にも好評を得ており、子育て支援の面からも有益な事業である。今後も、市民のニーズの把握と内容の充実を図ることにより参加者の増加を図る。3期（各期2コース×6回）で計36回、定員計420人で募集を行い192人の応募があり、174人が受講した。延べ参加者は734人であった。なお、3月は新型コロナウイルス感染症の影響で受講者、参加料ともに減少となった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**親子水泳教室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	90回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	1,564人	前年度延べ参加者数			2,116人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	457,000円	394,408円			247,200円

【内容】

親子で楽しみながら水泳を習得するため、3歳から6歳の児童と保護者を対象に教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 270人）　応募者数（ 260人）　参加者数（ 246人）　延べ参加者数（ 1,564人）

親子で参加できる運動の場として好評を得ている。今後も水泳を通した親子のふれあいの場として、また、楽しく運動するきっかけづくりとなる事業として実施する。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**親子わくわくデイキャンプ**				
開 催 時 期	8月3日(土)、24日(土)	回数	2回	会場	野外ステージ周辺及び炊事棟
参 加 者 数	81人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	80,000円	56,889円			74,000円

【内容】

野外活動センターの施設の特徴を活かし、一日体験イベントを通じて、野外活動に興味を持っていただく。初心者向けのテント・タープの設営を体験し、野外炊事でカレーライスを作った。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（130人）　参加者数（ 81人）

募集定員2回合計80人に対し応募者数は大幅に上回る130人となったため、2回目は抽選を行い2回合計で114人当選とした。しかし、その後猛暑の影響か当日キャンセルが相次いだため、募集定員を1人上回る81名の参加となった。来年度も引き続き参加者の体調の管理を十分に配慮して行いたい。また、参加者のアンケートによるとカレー以外の料理も体験したいとの意見をいただいたので、来年度は、よりバラエティーに富んだ魅力のある内容として実施する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**親子木登り体験講座**				
開 催 時 期	11月9日(土)	回数	1回	会場	雨天キャンプファイヤー場奥森林
参 加 者 数	13人	前年度参加者数			4人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	45,000円	25,062円			12,700円

【内容】

親子を対象にした「ツリークライミング」という、専用のロープやサドル（安全帯）、安全保護具を利用して行う木登りの体験講座。公認ファシリテーターの指導により、木登りを通じて木や森といった自然に、親子で慣れ親しむことができた。

【結果】　募集定員（ 16人）　応募者数（ 20人）　参加者数（ 13人）

これまで参加料が1人2,000円だったところ、他競合施設の事例を研究して大人1,300円、小人700円で設定し、「親子」をキーワードにした事業名に改変した。応募は8組20名で当日参加は5組13名であったが、過去3回実施(H30年4人/H29年9人/H28年4人)と比較しても、有効な施策であった。残念ながら、過去の集客数が少ない等の理由で来年度は廃止する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「森のパン作り」**				
開 催 時 期	9月8日(日)	回数	1回	会場	炊事棟・ダイニングシェルター
参 加 者 数	57人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	32,000円	11,380円			40,800円

【内容】

アウトドア料理でなじみのあるダッチオーブンを使用し、野外でのパン作りに挑戦することにより、当センターの魅力を伝え、生涯を通じてご家族などでの施設利用に繋げた。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 98人）　参加者数（ 57人）

募集定員40人に対し、98人の応募があったため抽選を行い、66人を当選とした。その後キャンセルが若干発生したため57人の参加となった。また、98人の応募のうち、半数以上の59人はｅメールからの応募であり、主流になってきたと思われる。来年度は、材料の仕分けや計量をスムーズに行えるように考慮し、参加者相互で交流を図り、より楽しく有意義な内容となるように努める。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「森のピザ作り」**				
開 催 時 期	9月28日(土)	回数	1回	会場	炊事棟・ダイニングシェルター
参 加 者 数	50人	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	32,000円	22,971円			36,800円

【内容】

アウトドア料理でなじみのあるダッチオーブンを使用し、野外でのピザ作りに挑戦することにより、当センターの魅力を伝え、生涯を通じてご家族などでの施設利用に繋げた。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 87人）　参加者数（ 50人）

募集定員40人に対し、87人の応募があったため抽選を行い、66人を当選とした。その後キャンセルが若干発生したため50人の参加となった。また、87人の応募者のうち、半数以上の54人はｅメールからの応募であった。募集定員に対し倍以上の応募をいただく人気の事業であり、来年度は、参加者に事前に具材を知らせ、子ども向けの味付けを考慮する等、より参加者が満足していただける内容となるよう考慮して実施する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「よもぎもち作り」**				
開 催 時 期	3月8日(日)	回数	1回	会場	雨天キャンプファイヤー場
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			51人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	30,000円	0円			0円

【内容】

松山市野外活動センターの利用促進と新たな顧客層の開拓を目的として親子を対象にアウトドアで作れる料理メニューを実体験するために、自然の中でセンター内で採れたよもぎを使って、よもぎもち作りを楽しむ教室を開催する。

【結果】　募集定員（ 50人）　応募者数（102人）

募集定員50人に対し102人と倍以上の応募をいただいていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。大変人気の高い事業であるため、来年度も実施する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**野活Deはじめてのキャンプ**				
開 催 時 期	8月17日(土)～18日(日)(1泊2日)	回数	1回	会場	野外ステージ周辺及び炊事棟
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	80,000円	2,260円			0円

【内容】

宿泊を伴うキャンプを実施し、テント設営や野外炊飯を通して野外活動の楽しさを体験する。

【結果】　募集定員（ 20人）　応募者数（ 4人）

小学3年から6年生を対象として、8月17日(土)・18日(日)に開催を予定していたが、応募者が4人と定員20人を遥かに下回ったため中止となった。来年度は、対象を親子に広げて実施する。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**昆虫観察事業**				
開 催 時 期	7月20日(土)～21日(日) 7月13日(金)～8月25日(日) 2月2日(日)	回数	2回	会場	研修室・場内
参 加 者 数	2,491人	前年度参加者数			17人(冬の昆虫観察のみ)
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	503,000円	220,229円			174,800円

【内容】

子どもたちが昆虫（カブトムシ）と触れ合うための「カブトムシツインドーム」（7月13日～8月25日）、採集を行う1泊2日のキャンプ、越冬を観察する昆虫観察会を実施した（2月2日）。

【結果】　カブトムシキャンプ　募集定員（50人）　応募者（190人）　参加者（71人）
カブトムシツインドーム　入場者数（2,386人）
冬の昆虫観察　募集定員（30人）応募者（36人）　参加者（34人）

「カブトムシツインドーム」は来年度はカブトムシの生育の関係で7月初旬～8月中旬に実施したい。また、どの事業も多くの参加をいただき活況であったため、自然とのふれあいや施設利用促進からも来年度もより充実した内容で継続する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**森のやすらぎ親子クラブ**				
開 催 時 期	5月～2月	回数	7回	会場	和室・ダイニングシェルター・場内
参 加 者 数	127人	前年度参加者数			64人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	603,000円	177,366円			38,100円

【内容】

未就学児や保護者を対象に、散策や昆虫観察など施設を活かした遊びを楽しんでもらうことを目的に教室事業を実施し、未就学児が自然とふれあう機会を提供することにより、豊かな情操を育んだ。

【結果】　募集定員（40人×8回）　応募者（206人）　参加者（127人）

3月6日実施分は新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止となり、7回の実施となった。
天候に左右されやすい事業ではあるが、来年度はHPの内容充実や周知活動の拡大に取り組み、参加者増を目指す。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**親子ウインターキャンプ**				
開 催 時 期	2月15日(土)	回数	1回	会場	野外ステージ周辺及び炊事棟
参 加 者 数	64人	前年度参加者数			37人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	40,000円	30,019円			59,000円

【内容】

冬に行えるキャンプや野外炊事を、初心者の親子を対象とした体験イベント。親子で生涯を通じて、野外活動を親しむことができるようにした。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 80人）　参加者数（ 64人）

昨年度からの継続事業で多くの応募に対応するため、プログラムの改良や受け入れ体制を工夫し、あいにくの曇りであったが64人の参加があった。また、参加者同士のコミュニケーションを図れるよう工夫しながらの事業に、アンケートでも高い評価をいただき、閑散期の活性化事業として期待できる。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**ファミリーオートキャンプ**				
開 催 時 期		回数	1回	会場	オートキャンプ場
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			中止
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	70,000円	0円			0円

【内容】

野外活動センターのオートキャンプ場を使用し、1泊2日でテント設営やアウトドアクッキング等の様々な野外活動プログラムを通して、キャンプの基礎知識や技術を習得するとともに、野外活動の楽しさや自然の素晴らしさを気軽に体感してもらう。

【結果】　募集定員（ 30人）

西日本豪雨により会場のオートキャンプ場が閉鎖になっているため、中止となった。

＜② 教室事業＞

（ウ こども対象）キッズを対象にスポーツに直接触れて体験することにより、幼少期からスポーツ活動への関心を高めることを目的とする教室

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**【新規事業】愛媛オレンジバイキングスバスケットボールクリニック**				
開 催 時 期	2月15日(土)	実施総回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
延べ参加者数	24人	前年度延べ参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	60,000円	10,528円			12,000円

【内容】

愛媛オレンジバイキングスのホームゲーム会場（コミセン体育館メインアリーナ）で、プロ選手による小学生対象のクリニックを実施することで、地元プロスポーツチームの応援やバスケットボールの普及、市民のスポーツへの興味を喚起し、松山市のスポーツ振興を図った。

【結果】　募集定員（ 20人）　応募者数（ 33人）　参加者数（ 24人）

愛媛オレンジバイキングスの公式戦の会場で、試合前にバイキングス所属の俊野達彦・俊野佳彦選手から迫力あるリーグ戦仕様のコート上での直接指導を受ける貴重な機会を提供できた。
定員を上回る申し込みがありまたアンケートでも「プロ選手からの指導を受ける貴重な体験ができた」との意見があり市民から好評な事業となった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズハンドボール教室**				
開 催 時 期	4月28日(日)	回数	1回	会場	体育館（メインアリーナ）
参 加 者 数	33人	前年度参加者数			20人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	58,000円	18,006円			16,500円

【内容】

子どもたちにスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、ハンドボールの経験のない小学生を対象に体験型の初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 30人）　応募者数（ 39人）　参加者数（ 33人）

1クラス1回、定員30人で募集し、定員を上回る応募があったが講師が受入れ可能と判断し実施した。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズ体操教室**				
開 催 時 期	2月8日(土)	回数	1回	会場	体育館（サブアリーナ）
参 加 者 数	15人	前年度参加者数			25人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	37,000円	14,610円			7,500円

【内容】

子どもたちにスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、新体操の経験のない小学生を対象に体験型の初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 20人）　応募者数（ 16人）　参加者数（ 15人）

寒い時期の開催であり参加者数が定員に満たなかった。今後は開催時期も考慮し、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズコーディネーション教室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	58回	会場	体育館（サブアリーナ）
延べ参加者数	522人	前年度延べ参加者数			1,013人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	653,000円	405,934円			310,500円

【内容】

神経の発達が最も伸びる時期にある小学生低学年を対象に、運動能力が向上するトレーニングとして近年アスリートにも取り入れられているコーディネーショントレーニング（身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高める為のトレーニング法）の教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 120人）　応募者数（ 69人）　参加者数（ 63人）　延べ参加者数（ 522人）

2クラス3期、定員計120人で募集した。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズスイミング教室**				
開 催 時 期	7月～8月	実施総回数	20回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	372人	前年度延べ参加者数			287人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	102,000円	88,184円			195,000円

【内容】

楽しみながら水泳を習得するため、小学4年から6年生の泳げない児童を対象とした水泳指導教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 95人）　参加者数（ 39人）　延べ参加者数（ 372人）

2クラス10回、定員40人で募集し、定員の2倍以上の応募があった。「息継ぎができるようになった」、「25m泳げるようになった」等参加者から喜びの声も多かったことから、募集定員や開催時期等の検討を行い、一人でも多くの小学生が泳げるようになるために事業を継続実施する。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズバドミントン教室**				
開 催 時 期	5月1日(水)、9月22日(日)、10月6日(日)、11月4日(月・振)	実施総回数	4回	会場	体育館（サブアリーナ）
延べ参加者数	163人	前年度延べ参加者数			217人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	234,000円	73,306円			81,500円

【内容】

子どもたちにスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、バドミントン経験のない小学生を対象に初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 120人）応募者数（ 217人）　参加者数（ 163人）　延べ参加者数（ 163人）

1クラス4期、定員計120人で募集したところ、定員を大きく上回る応募があった。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**キッズテニス教室**				
開 催 時 期	8月	実施総回数	8回	会場	テニスコート・屋内運動場・スポーツフロア
延べ参加者数	218人	前年度延べ参加者数			860人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,617,000円	200,331円			116,000円

【内容】

子どもたちにスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ愛好者の増加を図ることを目的に、テニス経験のない小学生を対象に、初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（30人）　応募者数（37人）　参加者数（29人）　延べ参加者数（218人）

小学生を対象に、1期定員30人を募集したところ、37人の応募があり、受講者29人で教室を開催した。夏場に屋外で開催した昨年度の反省を踏まえ、本年度は、屋内運動場で開催し、ミストを設置するなど熱中症対策をしっかりとることができた。屋外でのキッズ事業のため、今後も安全面に配慮して実施する。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**キッズ女子サッカー**				
開 催 時 期	12月	実施総回数	4回	会場	屋内運動場
延べ参加者数	48人	前年度延べ参加者数			71人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	505,000円	128,729円			26,000円

【内容】

子どもとスポーツの出会いを創出し、将来のスポーツ人口の増加を図る。また、子どもの運動能力を高める。サッカー初心者の女子児童を対象とした基本動作の指導。パス、ドリブル、シュートなど基本動作のアドバイスをした。

【結果】　募集定員（20人）　応募者数（18人）　参加者数（13人）　延べ参加者数（48人）

チラシを配り、教室の周知を行ったが、定員（20名）には届かず、18名の応募であった。冬休みで他の教室に埋もれがちなため、もっと周知活動を行う必要があると実感した。ただ、教室参加者は地元プロチームの選手と触れ合う貴重な経験を得ることができたとの意見が多かった。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	キッズコーディネーション教室				
開 催 時 期	4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月	実施総回数	40回	会場	テニスコート・屋内運動場・スポーツフロア
延べ参加者数	2,105人	前年度延べ参加者数			2,623人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,448,000円	1,240,426円			1,141,000円

【内容】

神経の発達が最も伸びる時期にある小学生低学年を対象に、運動能力が向上するトレーニングとして近年アスリートにも取り入れられているコーディネーショントレーニング（身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高める為のトレーニング法）の教室を開催した。

4期(各期10回2クラス、計20回)で計74回、定員計240人(各期60人)で募集を行い、各期55人～75人、計264人と定員を超える応募があったが、指導者との打ち合わせで受入可能と判断し、参加者各期46人～69人(計242人)で実施した。教室を卒業した高学年の参加者も、継続して参加を希望するほど好評を得ていることから、今後も内容の充実を図り、継続実施とする。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	キッズかけっこ教室				
開 催 時 期	8月	実施総回数	8回	会場	屋内運動場
延べ参加者数	554人	前年度延べ参加者数			482人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	745,000円	232,204円			292,000円

【内容】

スポーツの基本動作の一つである「走る」動作をテーマに昨年度に新規事業として実施した「キッズランニング教室」の名称を本年度は、親しみやすく、楽しく参加できるように「キッズかけっこ教室」に変更した。夏休み中の子どもたちに、楽しく運動する機会を提供した。

【結果】　募集定員（ 50人）　応募者数（ 125人）　参加者数（73人）　延べ参加者数（554人）

小学生の夏休み後半に8回教室で開催した。昨年度同様、応募が120人を超えており、ニーズの高さを再認識した。今後は、安全面に配慮しながら、指導者を増員し、定員を広げて募集する。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	キッズ初めての野球教室				
開 催 時 期	2月	実施総回数	1回	会場	坊っちゃんスタジアム
延べ参加者数	106人	前年度延べ参加者数			159人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	709,000円	27,469円			53,000円

【内容】

子どもとスポーツの出会いを創出し、将来のスポーツ人口の増加を図る。また、子どもの運動能力を高める。野球初心者の児童を対象とした基本動作の指導。捕る、投げる、打つなど基本動作のアドバイスをした。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（115人）　参加者数（106人）　延べ参加者数（106人）

115名の募集があり、定員を上回ったが、一人でも多く参加できるように講師と打ち合わせをして、定員（80名）より40名増やし120名の受け入れ体制を整えた。
教室の内容は学年や経験の有無で8班に分かれて行うことで安全面を考慮している。また参加者に指導が行き届き、満足度の高い教室を実現可能としている。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**【新規事業】キッズアクアチャレンジ教室**				
開 催 時 期	5月	実施総回数	2回	会場	アクアパレット
延べ参加者数	25人	前年度延べ参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	361,000円	15,143円			13,000円

【内容】

子どもとスポーツの出会いを創出し、将来のスポーツ人口の増加を図る。また、子どもの運動能力を高める。水に慣れること、水中での体の使い方、泳法指導を行った。

【結果】　募集定員（20人）　応募者数（14人）　参加者数（13人）　延べ参加者数（25人）

本年度から新規事業で長期開催の予定であったが、施設の空き状況等により難しかった。
そのため、財団イベント「10連休GWを遊びつくそう！」として開催した。
チラシを配り、教室の周知を行ったが、応募は14人であった。GW期間中はもっと周知活動を行う必要があると実感した。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**キッズスポーツプロジェクト**				
開 催 時 期	4月～3月	実施総回数	167回	会場	体育館・フットサル場
延べ参加者数	3,786人	前年度延べ参加者数			4,014人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	2,225,000円	1,859,744円			2,076,000円

【内容】

子どもたちにスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的とした、小学生対象のスポーツ教室で、「バドミントン教室」「スポーツアカデミー教室(運動能力向上)」「タグラグビー教室」「バスケットボール教室」「テニス教室」「かけっこ教室」を実施した。

【結果】　募集定員（ 710人）　応募者数（ 801人）　参加者数（ 674人）　延べ参加者数（3,786人）

応募者数は801人(対前年度比+198人)、参加者数は674人(対前年度比+78人)、延べ参加者数は3,786人（対前年度比-228人）となった。
参加者数は昨年度の+13%となっており、取組み指標であった参加者対前年度比+10%を達成することができた。延べ参加者数が減少した理由としては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室中止や講師都合などで総実施回数が167回(対前年度比-16回)となったことがある。応募率や参加者数は増加していることから、新規教室の実施や周知活動の効果があったことが分かった。

③　情報提供事業　（他事業と共通）

財団が実施する事業内容や参加者の声などを紹介し、スポーツ活動の魅力を広く紹介する事業を実施する。

市民の文化やスポーツへの関心を高めるとともに、財団事業のPR、利用者への利便性向上のために、財団の主催事業や各施設でのイベントを紹介する「きゃめりあ」を発行した。また、ホームページによる施設情報や文化・スポーツ情報の提供を行うほか、様々なメディアを活用し情報の発信に努めた。

内　　容	実施時期	配布数	決算額
施設情報誌「きゃめりあ」発行	月 1 回	19,200枚	95,175円
ホームページによる施設、事業案内	随　時	―	―
教室のご案内（チラシ）	年１回	30,000部	74,800円

④　拠点施設運営事業

スポーツ愛好者が活動を行うことによりスポーツの楽しさを享受するとともに、多くの市民が観戦等を通してスポーツに接する機会が持てるよう、拠点となるスポーツ施設を運営する。

松山市総合コミュニティセンター

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

体育館（専用利用スペース）

＜2＞個人利用施設

より多くの市民が気軽にスポーツ活動を行うために、個人利用者を対象に施設の開放に努めた。

体育館（個人利用スペース）

温水プール

松山中央公園

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

メイン野球場（会議室を含む）

サブ野球場

プール（専用利用スペース）

屋内運動場

スポーツフロア

運動広場

テニスコート

＜2＞個人利用施設

より多くの市民が気軽にスポーツ活動を行うため、個人利用者を対象に施設の開放に努めた。

プール（個人利用スペース）

松山市野外活動センター

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整や予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

スクールゾーン（研修棟を除く）

キャンプゾーン

アドベンチャーゾーン

北条スポーツセンター・北条体育館

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

体育館（会議室を含む）

球技場

陸上競技場

フットサル場

野球場

北条体育館・武道場

公益目的事業３

（１）埋蔵文化財の発掘、保存、調査研究及び文化財保護の普及啓発に関すること
（定款第4条第1項第3号事業）

（２）松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営
（定款第4条第1項第4号事業）

①　教室事業

市民が古代の生活文化を体験したり、実際に発掘された遺物にふれながら、遺物に関する知識を学んだり、地域に点在する古墳等の遺跡について学ぶなどの機会を提供する事業

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**古代体験教室**				
開 催 時 期	通年	回数	214回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	7,051人	前年度参加者数			7,172人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	509,500円	452,003円			987,400円

【内容】

石勾玉作り、ガラス勾玉作り、合金で銅銭作り・ミニ銅鏡作り、石膏でミニ銅鏡作り、ふんどう君ペンダント作り、染物体験、土器作り、キャンドル作り、拓本体験、火おこしなどの古代生活の体験教室を開催した。

【結果】

参加者数は7,051人で、対前年度比で121人減少した。事業参加費収入は987,400円で、対前年度比で52,100円減少した。30周年記念事業での火おこし大会や体験イベントを展示会のポスター・チラシ、ホームページ・広報誌に掲載することにより、参加者数は増加したが、年度末（2月～3月）に体験ベント2回と出前教室1回を中止（新型コロナウイルス感染拡大防止）としたため参加料収入は減じた。来年度は参加者アンケートを基に会期や内容を検討・改善し、参加者増を図る。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**わかりやすい考古学講座「発掘　松山の遺跡Ⅸ」**				
開 催 時 期	6月～3月	回数	9回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	602人	前年度参加者数			551人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	108,000円	124,617円			97,000円

【内容】

30周年事業の一環として市内の重要な発掘調査や国指定史跡を題材に解説する講座を実施した。

【結果】

昨年度の参加者アンケートで現地見学の希望があり、国史跡葉佐池古墳の現地見学と施設見学、国史跡松山城跡 三之丸跡の発掘調査現地見学を行ない、利用者数増と満足度向上に努めた。応募者数は対前年度比14人増で、定員（108人）の94%、延べ参加者数も対前年度比の51人増（109.2%）であった。3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となる。来年度は30周年記念誌を題材に解説する。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**出前考古学講座**				
開 催 時 期	通年	回数	95回	会場	市内小学校 外
参 加 者 数	7,207人	前年度参加者数			9,305人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	91,000円	65,539円			0円

【内容】

学校や公民館等に出向いて講義や古代体験を行うことで、学校教育や生涯学習を支援することを目的としている。地域の遺跡を紹介し、出土した土器を「見る」、「触れる」機会を提供する。古代体験では、古代衣装の試着、火おこし、勾玉作りなどの機会を提供した。

【結果】　想定参加者数（ 7,000人）　参加者数（7,207人）

利用団体は昨年度より3団体増え58団体となったものの、実施件数は95回で、対前年度比(99回)4回減少し、参加者数は7,207人で対前年度比で2,098人減少した。高齢クラブでの案内・チラシの配布に努めた結果、サロンでの利用につながり、新規で6団体の利用が得られた。来年度も案内方法を改善し、利用者増に努める。

＜① 教室事業＞

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**地域の歴史を知ろう**				
開 催 時 期	通年	回数	5回	会場	地域の公民館等
参 加 者 数	392人	前年度参加者数			723人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	21,000円	0円			0円

【内容】

地域の宝である遺跡や発掘出土品を知ることで「誇れる」地域の歴史や文化を伝え・育むことを目的に、地域の活性化に寄与するものである。公民館等において、該当地域から実際に出土したものを展示し、その地域に残された遺跡の話を中心に講座・古代体験を実施した。

【結果】　募集定員（ －人）　参加者数（392人）

昨年度から引き続き3つの公民館（北条中央会館、星岡公民館、味生公民館）との講座・勉強会に加えて、雄郡公民館小栗分館及び南江戸本村集会所と連携を取ることができたが、インフルエンザや新型コロナウイルスの影響で予定していた2件（味生公民館の2回目及び中島公民館）が中止となり、延べ参加者は723人から392人（対前年度比約54％）に減少した。来年度以降は公民館との連携関係は継続しつつも、出前考古学講座の一環として対応するものである。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**まつやまの歴史を学ぼう「はじめての考古学教室」**				
開 催 時 期	9月～10月、11月～12月	回数	10回	会場	松山市考古館 外
延べ参加者数	95人	前年度延べ参加者数			136人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	20,000円	9,374円			11,500円

【内容】

主婦層・高齢者層が松山の歴史や考古学への興味と関心を高めることを目指す事業。2期5回延べ10回開催し、考古学・発掘調査の基礎用語等をスライドや出土品などを用いて解説する。1期5回と2期5回を行い、1期は毎週金曜日午前に五週連続で、2期は毎週水曜日午後に五週連続で実施した。

【結果】　募集定員（１期・2期各20人、延べ200人）　参加者数（23人、延べ95人）

教室の参加者数増を目指し、平日に曜日・時間帯を変えて実施（1期は秋季の金曜日午前、2期は秋～冬季の水曜日午後）したが、応募者は1期12人、2期11人(6人は1期も受講)で、定員（各20人）の55～60％であった。延べ参加者数は、対前年度比70%にとどまった。来年度以降は考古学だけではなく、松山の歴史や文化に詳しい専門家を加えたものとすることで、参加者の増加を目指す。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**【新規事業】こども考古学教室**				
開 催 時 期	7月～8月	回数	3回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	51人	前年度参加者数			―
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	30,000円	31,968円			35,700円

【内容】

小学生に松山の歴史や考古学に興味や関心を持つ機会を提供する新規事業で、7/21～8/4の毎週日曜(計3回)実施した。事業では、考古館や埋蔵文化財センターの役割や日々の仕事の様子をスライドで紹介するとともに、復元室や展示室などを見学するバックヤードツアー、古代体験のマリングラス作りや合金～銅銭～、かんたん拓本、火おこしなどを行った。

【結果】　募集定員（45人）　参加者数（51人）

3回のべ45人の定員に対して51人の参加者があった（113％）。参加者（保護者含む）の感想には、「人数も開催日時、時間、内容も丁度良かったです」「皆が楽しむことができたと思います」や「来年度も夏休みに開催してほしい」などの感想・要望があった。来年度は、保護者も一緒に参加する親子教室も開催し、参加者の増加と満足度の向上を目指す。

② 展示事業

市民が、地域の歴史について出会い、伝え、広めることが出来るよう、様々な展示を通して埋蔵文化財への関心を高めるための機会を提供する事業

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国の風土と暮らし」**				
開 催 時 期	4月27日(土)～7月7日(日)	回数	63回	会場	松山市考古館
来 場 者 数	6,344人	前年度来場者数			5,329人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	454,000円	425,879円			0円

【内容】

四国内の埋蔵文化財センター5団体が合同で実施する発掘出土品の巡回展を開催した。展示会は発掘調査や最新の研究により明らかとなった縄文時代から弥生時代にかけての「四国の海辺の暮らし」について写真パネルや出土品で紹介した。

【結果】展示解説会2回（33人）・講演会1回（66人）・ギャラリートーク8回（49人）

大型連休中（4月27日～5月6日）に石勾玉づくりや合金コインみがき、火おこし体験などの古代体験イベントを実施したことで1,163人の参加者を得ることができ、その他関連事業を含めた展示会の延べ参加者は5,329人から6,344人（対前年度比約119%）に増加した。一方、展示会と関連して実施した報告会、講演会、ギャラリートークの参加者は、定員が320人であるのに対して、148人（46%）であった。展示会期間中に実施した古代体験教室は好評であり、来年度以降も内容を検討しながら継続して実施する。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」**				
開 催 時 期	7月13日(土)～12月1日(日)	回数	94回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	4,423人	前年度参加者数			6,092人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	631,000円	619,157円			137,000円

【内容】

（公財）愛媛県埋蔵文化財センターとの連携事業（共同主催）で、事業の主体となる展示会は、昨年度に松山市内や愛媛県内で発掘調査した遺跡や発掘調査報告書の刊行された遺跡の出土品を展示するもので、7月～9月に「掘ったぞな松山」、9月～10月に「いにしへのえひめ」展を開催した。

【結果】考古館で報告会5回・講演会1回（295人）・親子考古学講座（歴史バスツアーと連動）1回（38人）
古代体験まつり2回（368人）・歴史バスツアー3回（104人）

30周年記念事業に伴い特別展の会期を拡大したことから、展示会の延べ会期を大幅に短縮（開館日数が101日から83日へ）したことで観覧者数が減少した。その中にあって、歴史バスツアーは昨年度のアンケートを踏まえて、開催時期を猛暑期から秋～冬季に変更したことで、参加者が47人増加（対前年度比182%）した。来年度も参加者アンケートを基に事業内容を検討・改善し参加者増を図る。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**特別展『え？まつやまに前方後円墳？』・『中世・日々の暮らし』**				
開 催 時 期	11月1日(金)～1月19日(日)、2月1日(土)～3月15日(日)	回数	101回	会場	松山市考古館
来 場 者 数	3,763人	前年度来場者数			4,372人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	3,852,000円	3,556,155円			0円

【内容】

30周年記念事業として平成時代の発掘調査成果を2回（前期・後期）に分けて開催した。前期は11月～1月に古墳時代の松山の前方後円墳をテーマに「え？まつやまに前方後円墳？」展を、後期は2月～3月に中世をテーマに広島県立歴史博物館と連携して「中世・日々の暮らし」展を開催した。会期中には講演会・展示解説会を開催するとともに、30周年記念特別講演会、シンポジウム、公開講座を開催した。

【結果】講演会1回（71人）・体験イベント2回（128人、1回中止）・展示解説会1回（中止）
30周年関係：古代体験イベント1回（90人）・特別講演会1回（400人）・公開講座2回（59人）
シンポジウム2回（248人）・遣明船VR体験1回（中止）・報告会1回（中止）

前期展では松山に10基余りの前方後円墳があることを紹介するシンポジウムも開催した。会期中には考古館30周年を記念して「湯築城と松山城の魅力」と題して奈良大学教授千田嘉博の特別公演会を開催した。当日は定員150名（先着）を大きく上回る約400名が来館され、急きょ1階ロビーにも仮設席を設けることとなった。観覧者からは「松山に前方後円墳があることを知ってとても驚いた」など好評を得た。後期展では広島県立歴史博物館と連携をすることで重要文化財を17点借用展示でき、相互貸借事業として先方館では葉佐池古墳等、松山の遺跡を展示をしたことで松山に興味を持っていただいた。来年度は、本年度刊行の30周年記念誌を基にした展示会と、奈良県桜井市・田原本町と連携事業を予定しており、内容や広報を検討し参加者増を図る。

＜② 展示事業

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**考古館ロビー展**				
開 催 時 期	通年	回数	617回	会場	松山市考古館
来 場 者 数	36,869人	前年度来場者数			35,378人
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	209,000円	223,157円			0円

【内容】

市民の関心が高い古代ハス・古代米の育成と展示、発掘調査直後にその成果をいち早く市民に公開する展示等をロビーや特別展示室で行った。

【結果】　・大連古代蓮の育成と写真展示（19,387人）・発掘情報展5回（16,975人）
・ロビーコンサート10回（507人）

来場者数は対前年度比で1,491人増加した（「大連古代蓮」191人増・「発掘情報展」1,580人増・「ロビーコンサート」249人増）。「発掘情報展」の増加は北条地区の発掘成果を年間を通じて展示したことによるものである。来年度は、発掘調査で現地説明会を開催できなかったものを発掘情報展として公開することで、市民サービスの向上と来館者数の増加を図る。

③ 発掘調査研究事業

市内における重要遺跡等の発掘調査、周知の埋蔵文化財包蔵地内における試掘調査を実施し、整理、保存処理及び分析等の工程を実施し、その成果物として詳細な報告書を作成し、関係各所へ配布することで埋蔵文化財の保護思想の周知に努め、考古学の研究発展に寄与する事業

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**埋蔵文化財発掘調査事業**				
開 催 時 期	通年	件数	10件	会場	松山市全域及び 埋蔵文化財センター
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	86,870,000円	38,446,283円			0円

【内容】

民間・公共の開発に伴う委託契約により発掘調査（本格調査）を実施するとともに、報告書作成に伴う整理及び刊行を行った。

【結果】

本格調査は10件(昨年度5件)で対前年度比5件増加し、調査面積は5,393㎡（昨年度2,037㎡）で、対前年度比で3,356㎡増加した。事業経費の減少は発掘調査件数の減少によるものである。また、報告書作成に伴う整理作業は3件（昨年度3件）を実施し、報告書は1冊（『東垣生八反地遺跡5次調査』）を刊行した。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**埋蔵文化財発掘調査補助事業**				
開 催 時 期	通年	件数	10件	会場	松山市全域及び 埋蔵文化財センター
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	39,536,000円	33,180,400円			0円

【内容】

国庫補助事業委託による発掘調査（本調査）の実施、これに係る報告書作成に伴う整理・刊行業務、遺跡地図情報の整理、公共・民間の開発に伴う試掘調査や松山城三之丸跡保存整備に伴う発掘調査等を実施した。また、埋蔵文化財センター30周年記念事業として体験イベントと書籍編集を実施した。

【結果】

本発掘調査並びに重要遺跡確認調査等は3件で昨年度と同数であった。
試掘調査は122件（昨年度144件）で、対前年度比で22件減少し、試掘調査面積は71,718㎡（昨年度156,358㎡）で、対前年度比で84,640㎡減少した。事業費の減少は本格調査費用減によるものである。
出土物等の整理業務は2件4遺跡（昨年度5件6遺跡）を実施し、報告書は1冊（2遺跡所収・昨年度2冊4遺跡）を刊行した。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**埋蔵文化財センター出土物整理・保存、報告書作成事業**				
開 催 時 期	通年	回数	―	会場	埋蔵文化財センター
令和元年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,487,482円	974,327円			0円

【内容】

昭和40年代からの発掘調査済みの遺跡のうち、未整理遺跡の出土遺物等、発掘調査資料の整理・保存、収蔵及びデータ整理に基づく調査報告書を作成した。

【結果】

祝谷大地ケ田遺跡（祝谷古墳含む）出土の金属製品の保存処理、市内出土木製品の保存処理完了品の収蔵、市内遺跡出土の埴輪等の復元作業等を実施する。調査報告は「松山市埋蔵文化財調査年報31」を刊行（300部）した。
・報告書刊行状況＝調査済遺跡数…793遺跡／刊行済…515遺跡／未刊行…278遺跡

④　拠点施設運営事業

埋蔵文化財を調査・研究し、遺物などの整理・保存・収蔵に努めるとともに、これらの研究成果について報告書を作成して、これを広く全国に配信することにより、地域固有の歴史と文化の紹介を広く行う。また、これらの成果物を活用した埋蔵文化財の周知及び普及啓発を同時に行うことにより、市民が地域のアイデンティティを再発見し後世に伝えることの出来る文化施設を運営する。

松山市立埋蔵文化財センター

考古館

松山市内における埋蔵文化財の発掘調査によって発見された遺跡から出土した遺物や写真等を活用し、特別展や体験学習セミナー・遺跡めぐり等を開催することにより、埋蔵文化財保護思想の普及啓発を実践する拠点施設運営に努めた。

情報館

松山市内で出土した土器や石器等を整理・保管し、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって展示・収蔵施設を備えた埋蔵文化財保護施設運営に努めた。

収益事業

（１）管理運営する文化・スポーツ施設を公益目的以外で行う貸与事業
（定款第4条第2項第1号事業）

（２）管理運営する文化・スポーツ施設における駐車場及び売店の運営
（定款第4条第1項第2号事業）

①　収益事業

文化・スポーツ施設における公益目的事業以外への貸与及び駐車場・売店などの施設を運営する。

松山市総合コミュニティセンター

＜１＞研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

キャメリアホール

民間プロモーターの開催するコンサート、企業研修会やセミナーなどへの貸与

研修会議室

企業研修や展示会などへの貸与

企画展示ホール

業界向け展示会や一般向け小売展示会などへの貸与

＜２＞施設利用者が利用する駐車場・売店の運営

駐車場

松山中央公園

＜２＞施設利用者が利用する駐車場・売店の運営

売店等

松山市民会館

＜１＞研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

大ホール・中ホール・小ホール

民間プロモーターの開催するコンサート、企業研修会やセミナーなどへの貸与

会議室・和室・洋室

企業研修や展示会などへの貸与

松山市野外活動センター

＜１＞研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

スクールゾーン（研修棟）

宿泊を兼ねた企業研修会などへの貸与

❹ 文化・スポーツ拠点施設等の管理運営

（１）全体の利用者状況・収入状況

本年度は、平成30年7月に発生した西日本豪雨により、大きな被害を受けた松山市野外活動センター、北条スポーツセンターが通常営業に戻り、加えて、愛媛県県民文化会館改修に伴う閉館によるホール需要の拡大により本来であれば利用者、使用料等収入が増加する見込みであったが新型コロナウイルス感染の影響により平成29年度の実績に届くことができなかった。

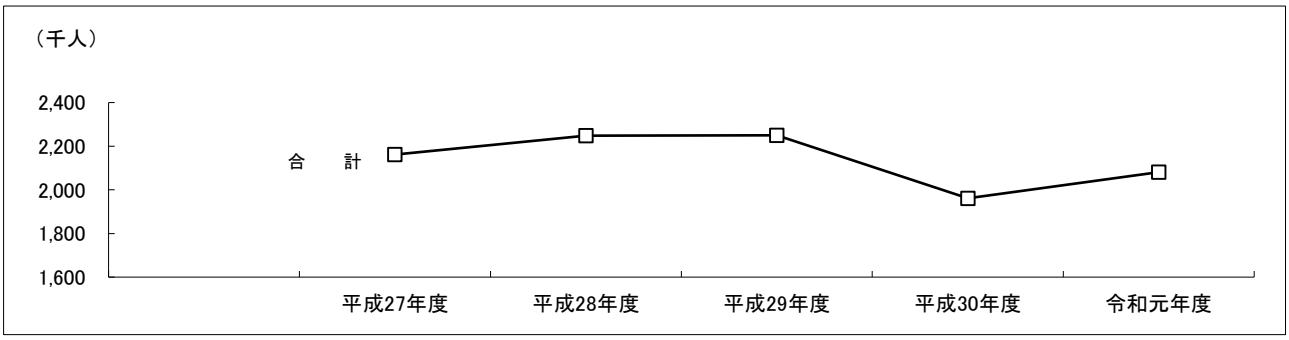
①利用者状況

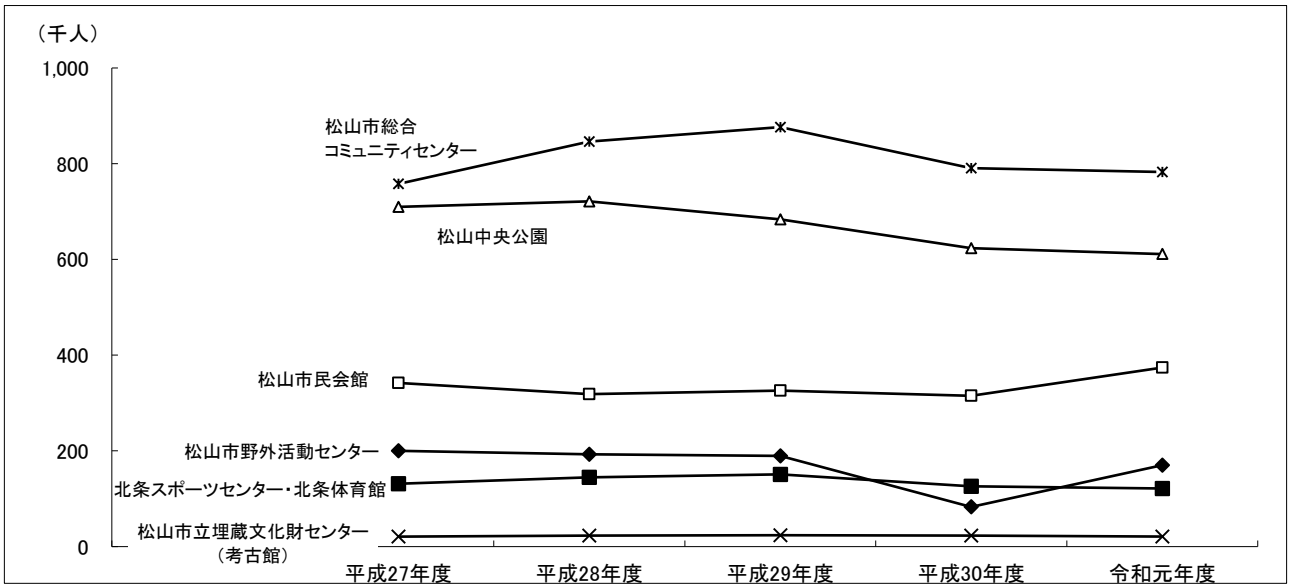
本年度の利用者数は2,080,520人で、昨年度の1,961,319人に比べ、119,201人（6.1%）増加している。

施設別の利用者状況５か年推移　　（人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
松山市総合コミュニティセンター	757,759	846,456	876,438	791,010	782,512
松山中央公園	709,764	721,279	683,374	623,200	611,144
松山市民会館	341,951	318,537	325,862	315,051	374,044
松山市立埋蔵文化財センター（考古館）	20,861	23,303	23,809	23,272	21,269
松山市野外活動センター	200,105	193,025	189,590	82,907	170,106
北条スポーツセンター・北条体育館	131,508	145,023	150,938	125,879	121,445
合計	2,161,948	2,247,623	2,250,011	1,961,319	2,080,520

○財団全体の利用者状況５か年推移





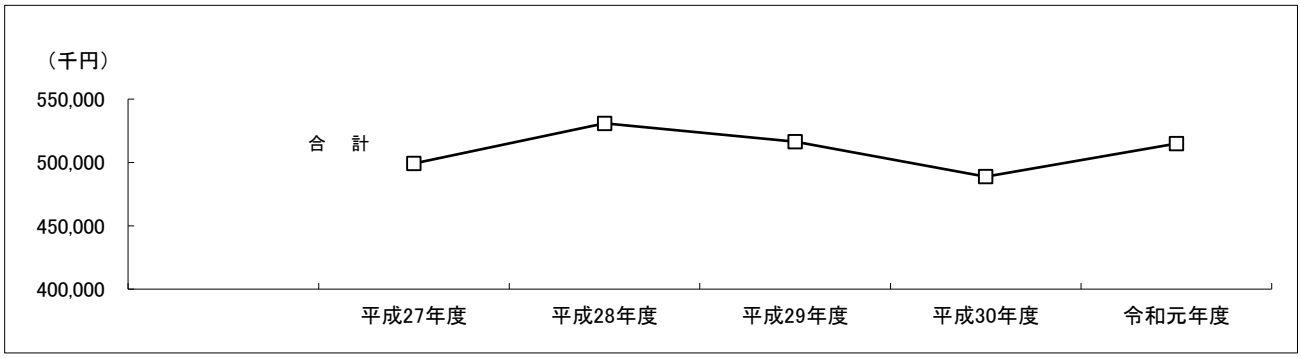
②使用料等収入状況

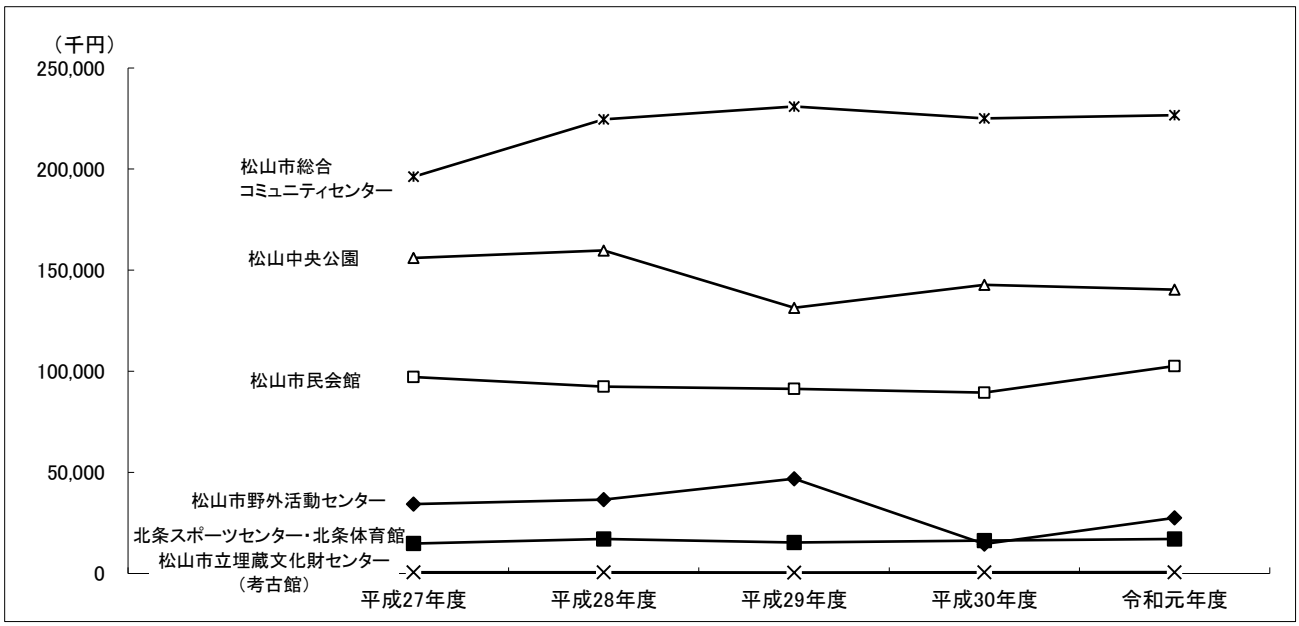
本年度の使用料等収入は514,907,642円で、昨年度の488,791,547円に比べ、26,116,095円（5.3%）の増加となっている。

施設別の使用料等収入状況５か年推移　（円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
松山市総合コミュニティセンター	196,194,202	224,544,843	230,977,880	225,090,780	226,623,795
松山中央公園	156,117,127	159,777,051	131,424,300	142,795,674	140,420,959
松山市民会館	97,192,680	92,382,330	91,349,600	89,464,460	102,604,660
松山市立埋蔵文化財センター（考古館）	599,020	641,420	499,100	586,730	676,690
松山市野外活動センター	34,272,665	36,465,840	46,889,390	14,613,165	27,580,610
北条スポーツセンター・北条体育館	14,807,270	17,073,220	15,296,860	16,240,738	17,000,928
合計	499,182,964	530,884,704	516,437,130	488,791,547	514,907,642

○財団全体の使用料等収入状況５か年推移





（２）松山市総合コミュニティセンター管理運営事業

本年度の利用者数は、782,512人で、昨年度の791,010人に比べ8,498人(1.1%) 減少している。また、使用料等収入は、226,623,795円で、昨年度の225,090,780円に比べ、1,533,015円（0.7%）増加している。

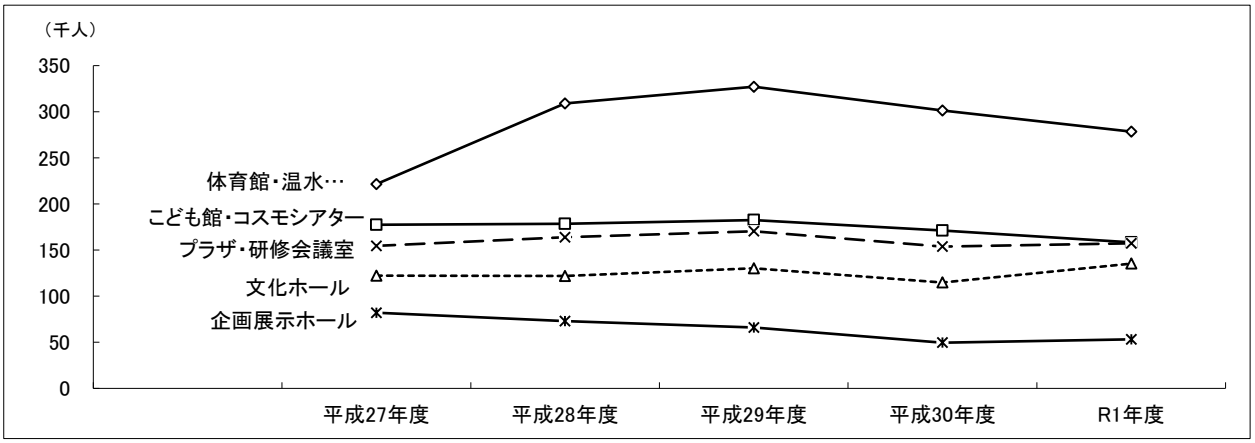
主な要因としては、各施設共に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月後半から3月は大幅なキャンセルとなり減収となったが、通期としては県民文化会館休館に伴いキャメリアホールと企画展示ホールの利用が増え使用料収入が増加した。

①利用者状況

利用者状況５か年推移　（人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体育館・温水プール	221,494	308,911	327,129	301,507	278,304
プラザ・研修会議室	177,308	178,620	182,503	171,344	158,373
文化ホール	122,433	121,896	130,409	114,817	135,286
こども館・コスモシアター	154,460	163,949	170,367	153,778	157,309
企画展示ホール	82,064	73,080	66,030	49,564	53,240
合計	757,759	846,456	876,438	791,010	782,512

○施設別の利用者状況５か年推移

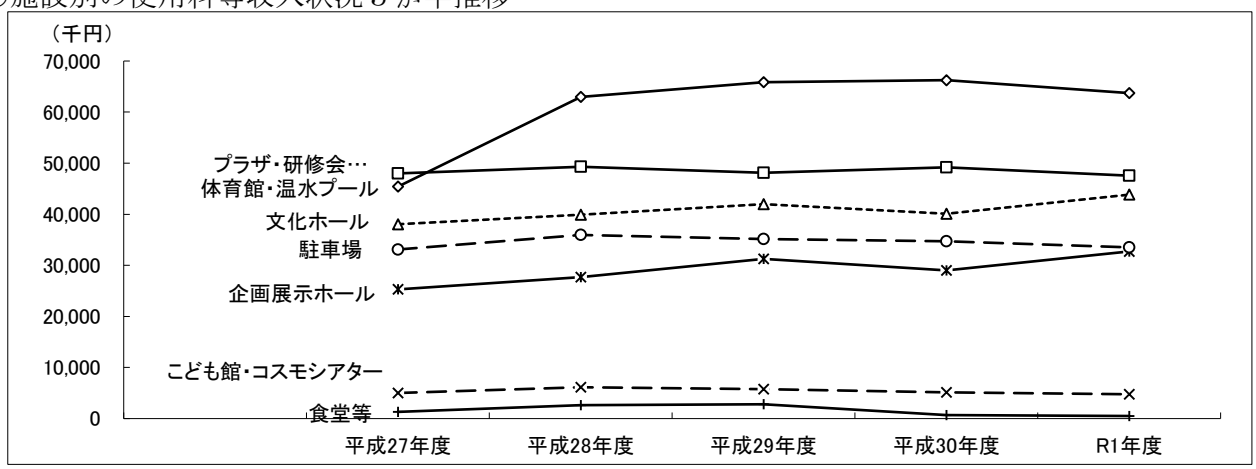


②使用料等収入状況

使用料等収入状況５か年推移　（円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体育館・温水プール	45,412,290	62,979,375	65,859,870	66,257,920	63,740,715
プラザ・研修会議室	47,986,200	49,293,730	48,140,790	49,207,190	47,557,840
文化ホール	38,049,710	39,911,175	42,004,140	40,081,850	43,839,180
こども館・コスモシアター	5,024,160	6,135,210	5,762,680	5,130,060	4,763,210
企画展示ホール	25,290,130	27,668,960	31,253,300	29,005,260	32,721,350
駐車場	33,105,500	35,946,800	35,155,100	34,714,100	33,496,300
食堂等	1,326,212	2,609,593	2,802,000	694,400	505,200
合計	196,194,202	224,544,843	230,977,880	225,090,780	226,623,795

○施設別の使用料等収入状況５か年推移



（３）松山中央公園管理運営事業

本年度の利用者数は、611,144人で、昨年度の623,200人に比べ12,056人（1.9%）減少している。また、使用料収入は、140,420,959円で、昨年度の142,795,674円に比べ、2,374,715円（1.7%）減少している。

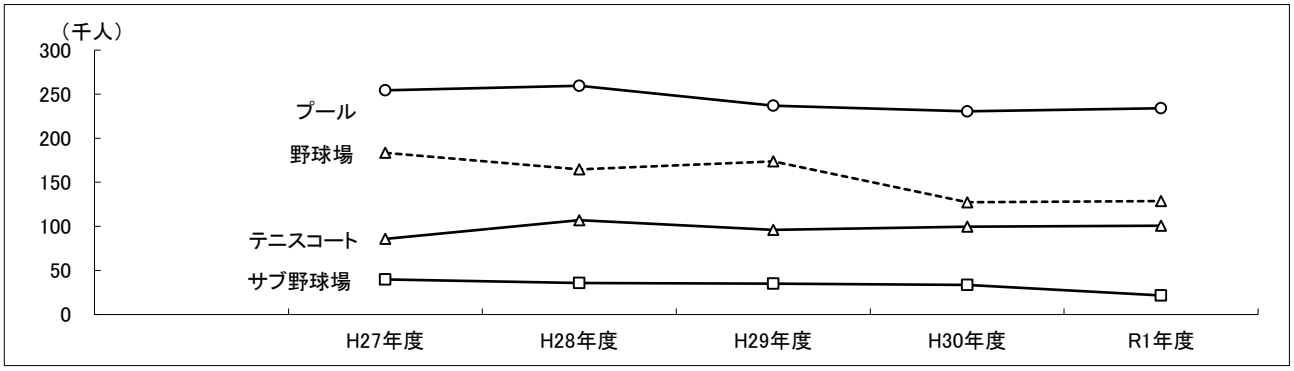
主な要因としては、2、3月に予定されていた大学野球部春季キャンプや高等学校野球愛媛大会等の大会が相次いで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったことが挙げられる。

①利用者状況

利用者状況５か年推移　（人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
野球場	183,471	164,825	173,716	127,411	128,860
サブ野球場	39,813	35,678	34,953	33,619	21,652
屋内練習場	69,490	65,327	66,218	63,048	61,170
屋内運動場	30,369	30,360	31,751	28,596	28,450
運動広場	46,298	58,451	43,707	40,313	36,063
テニスコート	85,839	107,063	96,211	99,628	100,863
プール	254,484	259,575	236,818	230,585	234,086
合計	709,764	721,279	683,374	623,200	611,144

○施設別の利用者状況５か年推移



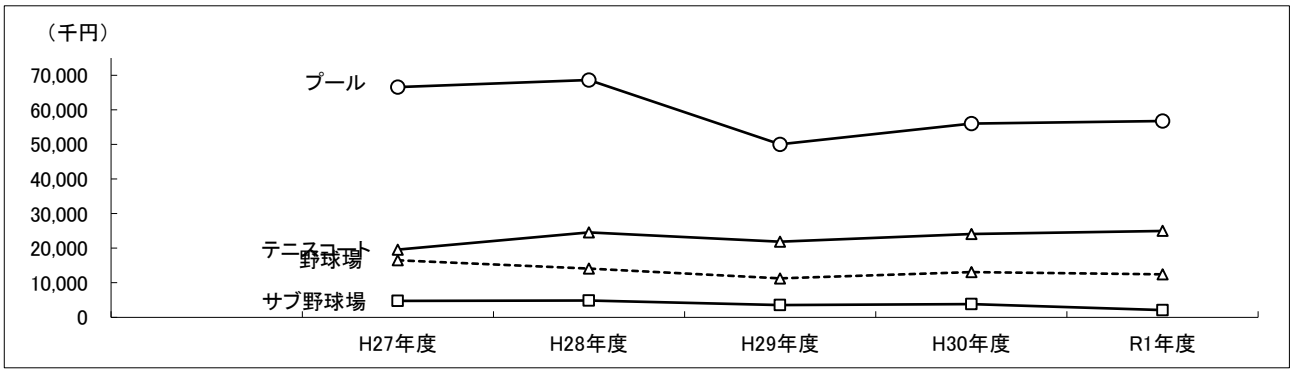
②使用料収入状況

使用料収入状況５か年推移　（円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
野球場	16,507,587	14,146,115	11,283,036	13,047,605	12,469,592
サブ野球場	4,794,510	4,874,135	3,592,440	3,876,072	2,108,060
屋内練習場	8,123,930	7,746,965	7,146,500	7,225,603	7,253,444
屋内運動場	4,824,590	4,457,730	4,241,230	4,472,384	4,376,216
運動広場	4,421,980	5,318,420	3,241,430	3,958,408	3,555,514
テニスコート	19,593,005	24,587,685	21,900,180	24,144,330	24,988,050
プール	66,550,310	68,642,580	50,055,145	56,035,185	56,822,800
その他	31,301,215	30,003,421	29,964,339	30,036,087	28,847,283
合計	156,117,127	159,777,051	131,424,300	142,795,674	140,420,959

＊屋内練習場は屋内練習場外6施設を含む。　＊その他収入は広告収入、売店収入等を含む。

○施設別の使用料収入状況５か年推移



（４）松山市民会館管理運営事業

本年度の利用者数は、374,044人で、昨年度の315,051人に比べ58,993人（18.7%）増加している。また、使用料収入は、102,604,660円で、昨年度の89,464,460円に比べ13,140,200円（14.7%）増加している。

主な要因としては、県民文化会館休館による新規利用者が増加。また、使用料金の単価が高い大・中ホールでのプロモーターによる興行が増えたことが挙げられる。

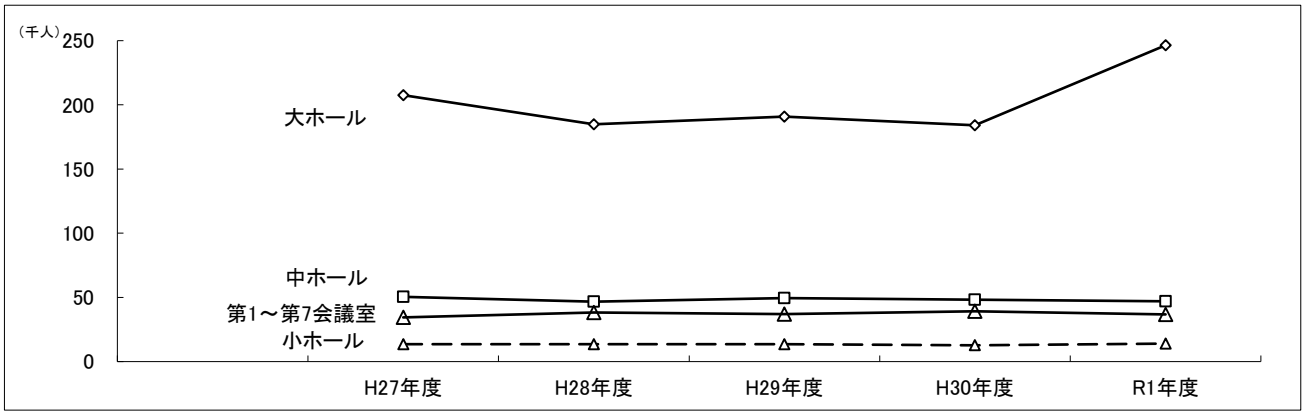
①利用者状況

利用者状況５か年推移　（人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大ホール	207,499	184,976	190,862	184,100	246,403
中ホール	50,450	46,702	49,425	48,286	47,105
小ホール	13,515	13,458	13,662	12,708	13,999
第１～第７会議室	34,434	38,163	36,970	39,185	36,698
和室２	2,054	1,899	2,021	1,909	2,016
洋室１～３	7,135	7,613	7,871	6,783	6,485
リハーサル室	11,020	9,329	10,146	10,156	9,794
練習室１～２	15,844	16,397	14,905	11,924	11,544
合計	341,951	318,537	325,862	315,051	374,044

＊小ホールは小ホール会議室、和室1を含む。

○施設別の利用者状況５か年推移



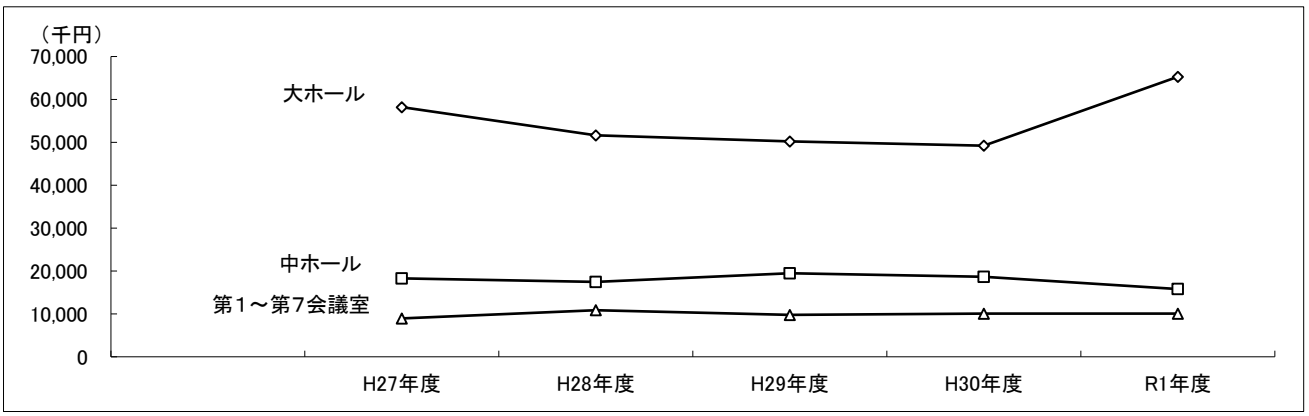
②使用料収入状況

使用料収入状況５か年推移　（円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大ホール	58,224,180	51,618,290	50,235,530	49,214,330	65,280,860
中ホール	18,305,620	17,458,210	19,475,970	18,659,350	15,793,870
小ホール	3,331,290	3,789,880	3,361,580	3,248,760	3,330,130
第１～第７会議室	8,946,020	10,859,110	9,761,080	10,104,590	10,042,800
和室２	691,510	750,160	657,270	690,970	652,460
洋室１～３	2,228,930	2,329,700	2,234,870	2,312,960	2,281,120
リハーサル室	2,276,930	2,221,100	2,472,750	2,315,870	2,258,760
練習室１～２	3,188,200	3,355,880	3,145,250	2,907,530	2,951,260
その他（ロッカー）	－	－	5,300	10,100	13,400
合計	97,192,680	92,382,330	91,349,600	89,464,460	102,604,660

＊小ホールは小ホール会議室、和室1を含む。

○使用料収入状況５か年推移



（５）松山市立埋蔵文化財センター管理運営事業

本年度の利用者数は、21,269人で、昨年度の23,272人に比べ、2,003人（8.6%）減少している。また、観覧料等収入は、676,690円で、昨年度の586,730円に比べ、89,960円（15.3%）増加している。

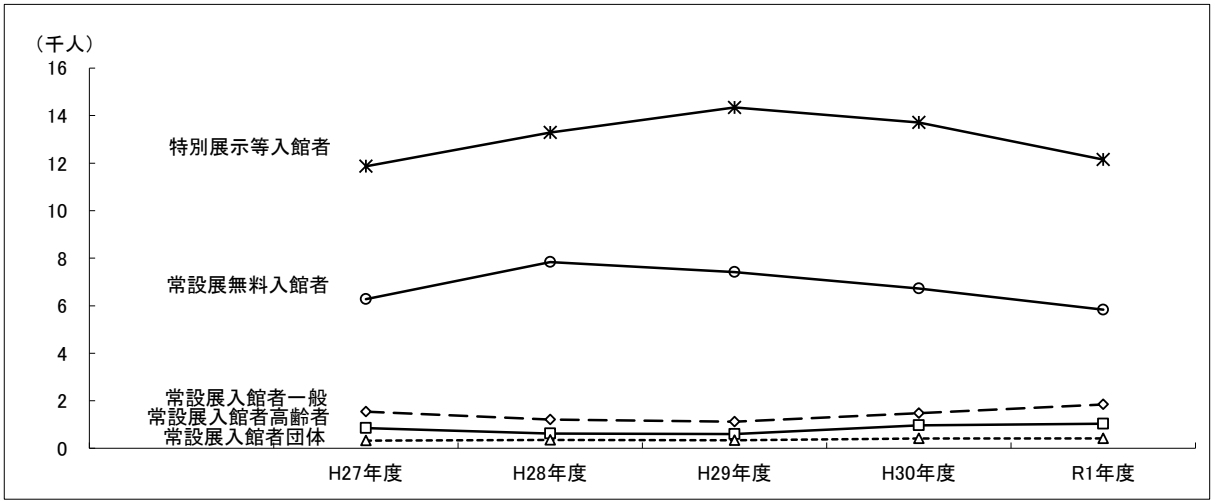
利用者の主な減少要因は、3月に小学校の団体来館が新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止になったことである。観覧料の主な増加要因は、当館の30周年記念事業や5月の大型連休にイベントを開催し好評を得たことが挙げられる。

①利用者状況

利用者状況 5か年推移　（人）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
常設展示	一般	1,546	1,209	1,118	1,475	1,843
	高齢者	853	620	599	960	1,033
	団体	321	353	332	411	408
	無料入館者	6,273	7,836	7,415	6,718	5,833
特別展示等		11,868	13,285	14,345	13,708	12,152
合計		20,861	23,303	23,809	23,272	21,269

○施設別の利用者状況５か年推移

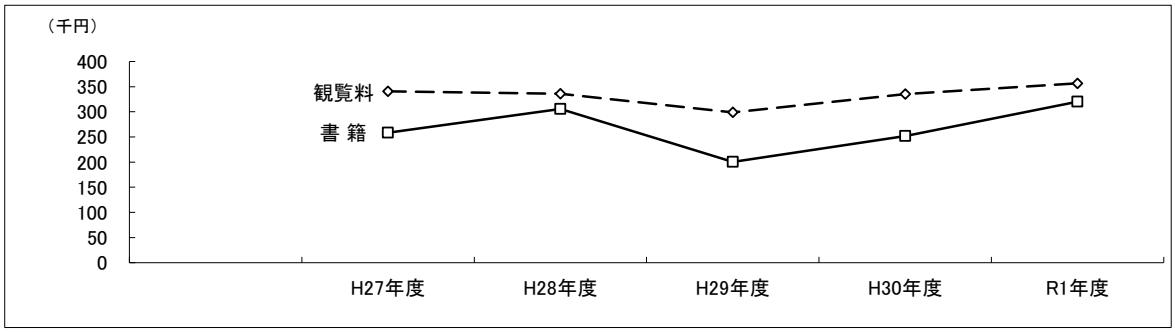


②観覧料等収入状況

収入状況 5か年推移　（円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
観覧料	340,870	335,870	298,750	335,080	356,590
書籍	258,150	305,550	200,350	251,650	320,100
合計	599,020	641,420	499,100	586,730	676,690

○収入状況５か年推移



（６）松山市野外活動センター管理運営事業

本年度の利用者数は、170,106人で、昨年度の82,907人に比べ87,199人（105.2%）増加している。

また、使用料収入は、27,580,610円で、昨年度の14,613,165円に比べ12,967,445円(88.7%)の増加である。

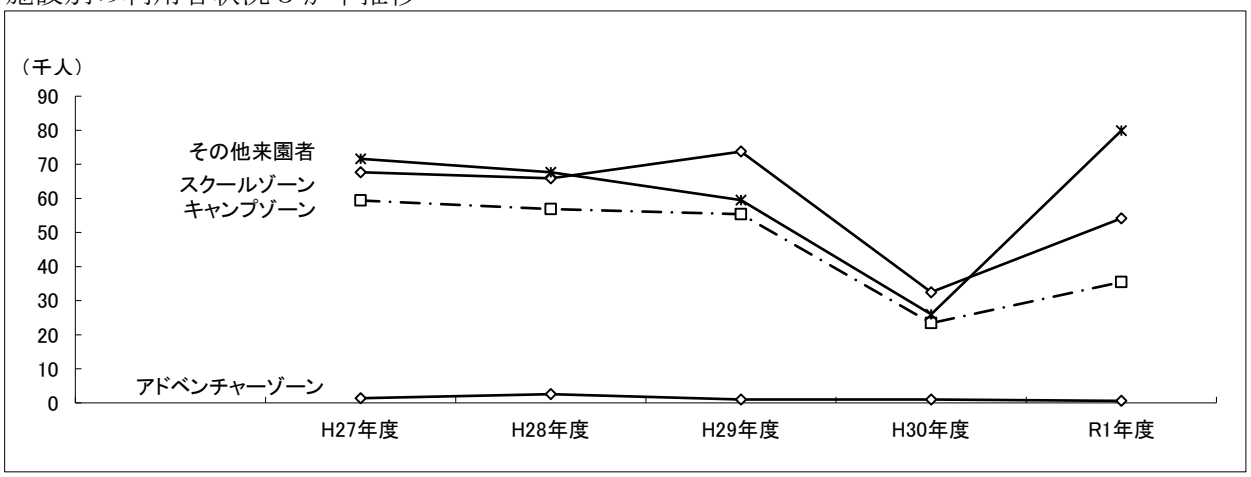
主な要因としては、西日本豪雨の復旧工事が一部完了し利用が再開した事が挙げられる。（平成30年12月20日より一部再開）

①利用者状況

利用者状況　５か年推移　（人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
スクールゾーン	67,701	65,892	73,747	32,501	54,163
キャンプゾーン	59,398	56,907	55,345	23,413	35,449
アドベンチャーゾーン	1,392	2,558	997	1,006	588
その他来園者	71,614	67,668	59,501	25,987	79,906
合計	200,105	193,025	189,590	82,907	170,106

○施設別の利用者状況５か年推移

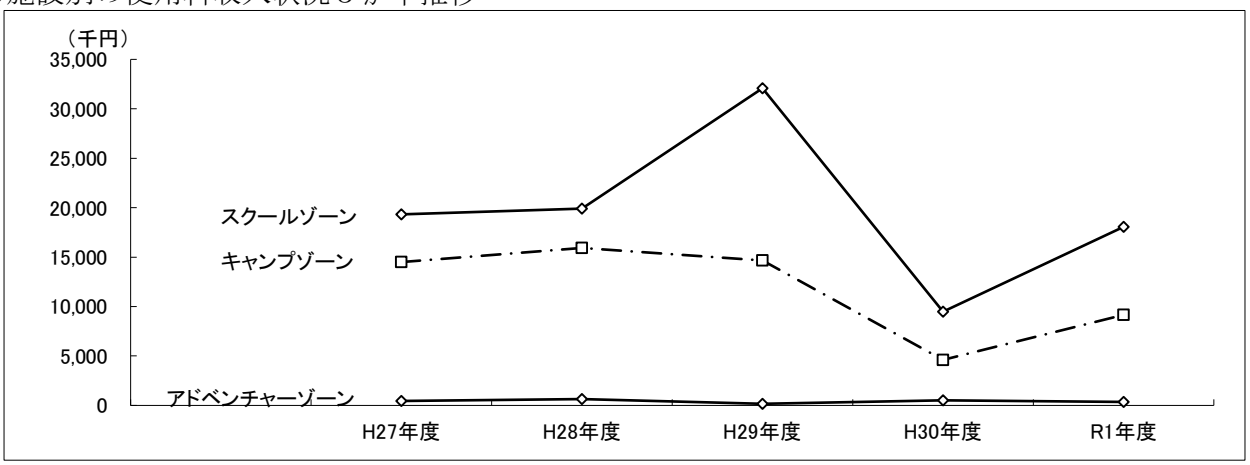


②使用料収入状況

使用料収入状況　５か年推移　（円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
スクールゾーン	19,328,550	19,894,905	32,077,240	9,483,030	18,076,450
キャンプゾーン	14,502,495	15,927,895	14,646,560	4,608,180	9,152,000
アドベンチャーゾーン	441,620	643,040	165,590	521,955	352,160
合計	34,272,665	36,465,840	46,889,390	14,613,165	27,580,610

○施設別の使用料収入状況５か年推移



（７）北条スポーツセンター及び北条体育館管理運営事業

本年度の利用者数は、121,445人で、昨年度の125,879人 に比べ4,434人（3.5%）減少している。また、使用料収入は、17,000,928円で、昨年度の16,240,738円に比べ、760,190円(4.7%)増加している。

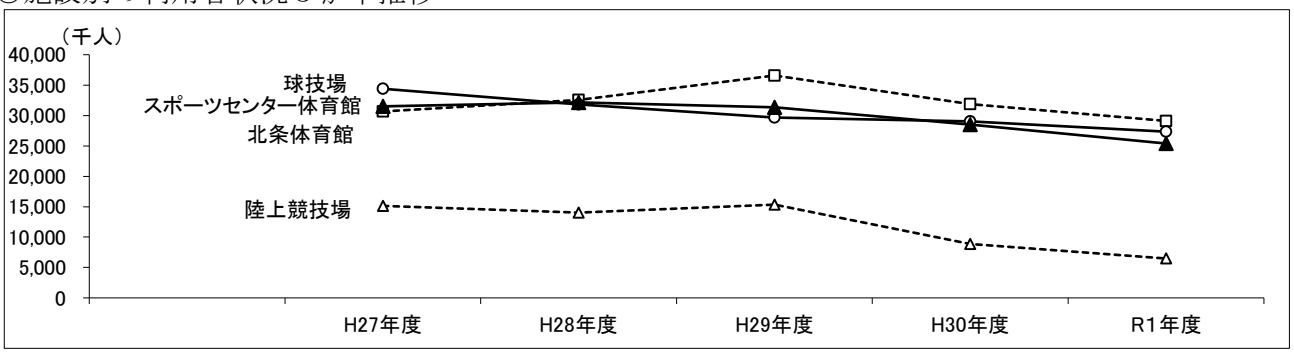
利用者が減少した主な要因としては、新型コロナウィルス感染拡大防止の影響で3月に予定されていた大会等が中止となったことが挙げられるが、使用料収入については上半期に野球場や会議室・ミーティングルームの利用が増えたことにより増加となった。

①利用者状況

利用者状況５か年推移　（人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
陸上競技場	15,153	14,024	15,339	8,847	6,476
球技場	30,658	32,549	36,578	31,877	29,105
フットサル場	8,112	7,280	7,967	6,054	6,371
スポーツセンター体育館	31,506	32,153	31,361	28,516	25,389
ミーティングルーム	2,867	2,749	3,825	2,058	2,602
会議室等	5,144	5,820	7,342	4,453	4,473
野球場	－	14,937	14,099	9,581	13,485
北条体育館	34,400	31,829	29,659	29,035	27,344
武道場	3,668	3,682	4,768	5,458	6,200
合計	131,508	145,023	150,938	125,879	121,445

○施設別の利用者状況５か年推移

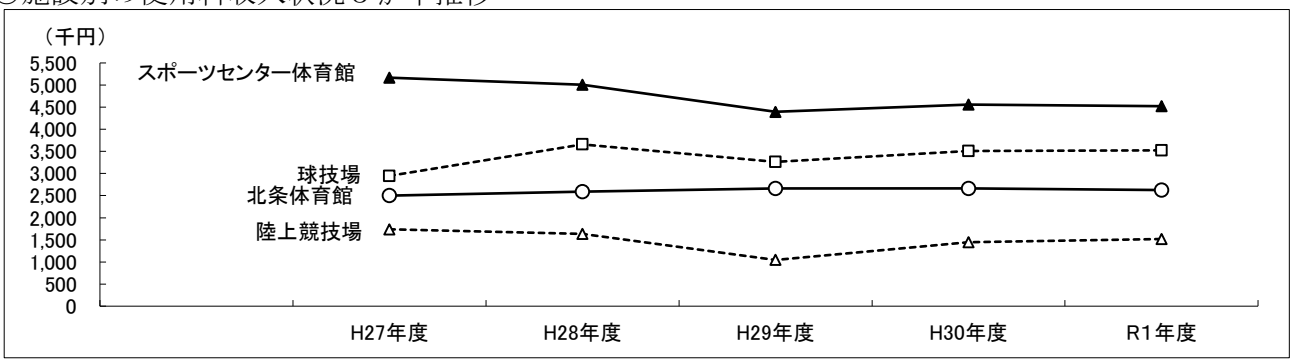


②使用料収入状況

使用料収入状況５か年推移　（円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
陸上競技場	1,738,670	1,638,020	1,044,990	1,448,740	1,520,390
球技場	2,947,070	3,658,100	3,259,640	3,505,970	3,526,710
フットサル場	1,420,070	1,340,080	963,780	1,159,560	1,247,070
スポーツセンター体育館	5,167,120	5,009,370	4,395,620	4,559,280	4,519,780
ミーティングルーム	217,030	291,400	251,100	247,600	339,950
会議室等	587,100	582,540	498,650	742,070	819,480
野球場	－	1,743,280	2,001,190	1,639,678	2,134,858
北条体育館	2,499,770	2,593,360	2,660,950	2,663,600	2,625,410
武道場	207,140	171,270	193,200	231,450	253,060
コインロッカー	23,300	45,800	27,740	42,790	14,220
合計	14,807,270	17,073,220	15,296,860	16,240,738	17,000,928

○施設別の使用料収入状況５か年推移



❺ 庶務・管理

（1）令和元年度 評議員会・理事会の開催状況

評議員会

開催年月日	決議の内容		結果
平成 31 年 4 月 26 日	議案第 1 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団評議員の選任について	可決
令和元年 5 月 29 日	報告第 1 号	平成 30 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業報告について	―
	議案第 2 号	平成 30 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団決算について	承認
	議案第 3 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団評議員の選任について	可決
	報告第 2 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	―
令和元年 11 月 11 日	議案第 4 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団評議員の選任について	可決
令和 2 年 3 月 25 日	議案第 5 号	令和 2 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業計画書及び収支予算書について	承認
	報告第 5 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団処務規程の一部改正について	―
	報告第 6 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団文書取扱規程の一部改正について	―
	報告第 7 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団職員の採用等に関する規程の一部改正について	―
	報告第 8 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団就業規程の一部改正について	―

理事会

開催年月日	決議の内容		結果
平成 31 年 4 月 23 日	議案第 1 号	平成 31 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団臨時評議員会の招集について	可決
令和元年 5 月 14 日	議案第 2 号	平成 30 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業報告及び決算について	承認
	議案第 3 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	可決
	議案第 4 号	令和元年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団定時評議員会の招集について	可決
令和元年 7 月 31 日	議案第 5 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団就業規程の一部改正について	可決
令和元年 10 月 26 日	議案第 6 号	令和元年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団臨時評議員会の招集について	可決
令和元年 12 月 18 日	議案第 7 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	可決
令和 2 年 2 月 14 日	議案第 8 号	令和 2 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業計画書及び収支予算書について	承認
	議案第 9 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団処務規程の一部改正について	可決
	議案第 10 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団文書取扱規程の一部改正について	可決
	議案第 11 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団職員の採用等に関する規程の一部改正について	可決
	議案第 12 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団就業規程の一部改正について	可決
	議案第 13 号	令和元年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団臨時評議員会の招集について	可決
令和 2 年 3 月 26 日	議案第 14 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団就業規程の一部改正について	可決
	議案第 15 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	可決
	議案第 16 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団退職手当支給規程の一部改正について	可決

（２）評議員・理事・監事に関する事項

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの期間

評議員

辞任　竹政 秀俊　時川　裕之

退任　髙橋　二郎

就任　中矢　　斉　玉井　知子　松井　　隆

■評議員名簿　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

井上 洋一	梅岡 伸一郎	金澤 泰子
清水 宣郎	下條 信行	玉井　知子
中村 史郎	中矢　斉	福井 美香
藤田 仁	松井　隆	矢野 大二

理　事

■理事名簿　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

泉宗 義宏	片山　雅央	北澤　剛
土居 英雄	開　忠和	本田　元広

監　事

■監事名簿　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

原田 光雄	山邊 彰三

財　務　諸　表

貸　借　対　照　表

令和２年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	252,472,203	248,874,531	3,597,672
未収金	7,221,753	6,513,074	708,679
前払金	2,016,870	1,557,410	459,460
立替金	0	20,111	△20,111
貯蔵品	361,013	1,191,285	△830,272
流動資産合計	262,071,839	258,156,411	3,915,428
２．固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	302,029,624	301,977,287	52,337
投資有価証券	847,970,376	848,022,713	△52,337
基本財産合計	1,150,000,000	1,150,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産			
定期預金	521,519,749	564,279,970	△42,760,221
投資有価証券	49,874,840	49,881,320	△6,480
特定資産合計	571,394,589	614,161,290	△42,766,701
(3)その他の固定資産			
什器備品			
取得価額	3,323,761	3,323,761	0
リース資産			
取得価額	61,461,733	26,233,933	35,227,800
減価償却累計額	△22,438,816	△23,120,992	682,176
その他の固定資産合計	42,346,678	6,436,702	35,909,976
固定資産合計	1,763,741,267	1,770,597,992	△6,856,725
資　産　合　計	2,025,813,106	2,028,754,403	△2,941,297
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	254,355,673	271,541,182	△17,185,509
前受金	11,434,500	4,084,847	7,349,653
預り金	14,073,264	10,794,313	3,278,951
仮受金	98,864,713	102,401,165	△3,536,452
リース債務（短期）	10,430,307	2,922,902	7,507,405
賞与引当金	53,126,328	54,506,540	△1,380,212
流動負債合計	442,284,785	446,250,949	△3,966,164
２．固定負債			
退職給付引当金	689,682,028	704,420,012	△14,737,984
リース債務（長期）	32,504,406	3,655,986	28,848,420
固定負債合計	722,186,434	708,075,998	14,110,436
負　債　合　計	1,164,471,219	1,154,326,947	10,144,272
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産	1,150,000,000	1,150,000,000	0
２．一般正味財産	△288,658,113	△275,572,544	△13,085,569
正味財産合計	861,341,887	874,427,456	△13,085,569
負債及び正味財産合計	2,025,813,106	2,028,754,403	△2,941,297

正味財産増減計算書

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1　経常増減の部			
(1)　経常収益			
基本財産運用益	2,682,004	2,735,110	△ 53,106
基本財産受取利息	2,682,004	2,735,110	△ 53,106
特定資産運用益	552,589	632,304	△ 79,715
特定資産受取利息	552,589	632,304	△ 79,715
事業収益	1,927,146,670	1,937,825,691	△ 10,679,021
指定管理料収益	1,808,430,369	1,820,818,875	△ 12,388,506
受託事業収益	71,626,548	64,800,526	6,826,022
参加料等収益	40,425,753	45,595,890	△ 5,170,137
入場料収益	6,664,000	6,610,400	53,600
受取補助金等	65,025,918	66,068,960	△ 1,043,042
市補助金	65,025,918	66,068,960	△ 1,043,042
雑収益	1,677,694	1,538,834	138,860
受取利息	4,998	5,044	△ 46
その他雑収益	1,672,696	1,533,790	138,906
経常収益計	1,997,084,875	2,008,800,899	△ 11,716,024
(2)　経常費用			
事業費	2,007,477,989	2,006,599,565	878,424
報酬	1,094,795	1,097,951	△ 3,156
給料	307,107,935	330,444,706	△ 23,336,771
職員手当等	143,330,913	144,101,770	△ 770,857
賞与引当金繰入額	53,049,654	54,407,144	△ 1,357,490
退職給付費用	103,667,650	89,464,042	14,203,608
福利厚生費	95,916,517	103,984,767	△ 8,068,250
賃金	200,163,643	173,133,922	27,029,721
報償費	20,269,753	23,065,730	△ 2,795,977
旅費交通費	785,798	1,221,719	△ 435,921
交際費	15,000	15,000	0
消耗品費	45,511,120	49,326,842	△ 3,815,722
燃料費	9,170,398	7,534,953	1,635,445
食糧費	146,654	168,887	△ 22,233
印刷製本費	7,420,305	10,552,980	△ 3,132,675
光熱水費	272,979,779	267,952,974	5,026,805
修繕料	19,187,723	19,975,284	△ 787,561
通信運搬費	6,741,630	5,717,744	1,023,886
広告掲載料	305,360	231,714	73,646
検査等手数料	14,729,159	13,166,039	1,563,120
保険料	5,837,217	5,766,518	70,699
使用料及び賃借料	46,582,503	45,980,396	602,107
工事請負費	24,170,990	33,501,932	△ 9,330,942

科　　目	当年度	前年度	増　減
原材料費	4,781,478	6,167,655	△ 1,386,177
備品購入費	3,970,866	11,115,604	△ 7,144,738
租税公課	75,869,055	64,213,458	11,655,597
委託費	536,265,710	540,089,271	△ 3,823,561
リース資産減価償却費	7,192,484	4,039,492	3,152,992
支払利息	1,213,900	161,071	1,052,829
管理費	2,692,455	2,674,186	18,269
報酬	13,105	14,387	△ 1,282
給料	410,725	495,012	△ 84,287
職員手当等	276,664	329,246	△ 52,582
賞与引当金繰入額	76,674	99,396	△ 22,722
退職給付費用	74,567	113,572	△ 39,005
福利厚生費	198,578	243,938	△ 45,360
賃金	69,406	81,801	△ 12,395
報償費	233	1,886	△ 1,653
旅費交通費	334	39	295
消耗品費	16,010	19,962	△ 3,952
印刷製本費	4,071	4,481	△ 410
修繕料	894	978	△ 84
通信運搬費	11,008	5,729	5,279
検査等手数料	142	260	△ 118
使用料及び賃借料	0	17,199	△ 17,199
支払負担金	1,327,198	1,014,518	312,680
租税公課	181,945	175,429	6,516
委託費	30,901	56,353	△ 25,452
経常費用計	2,010,170,444	2,009,273,751	896,693
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,085,569	△ 472,852	△ 12,612,717
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,085,569	△ 472,852	△ 12,612,717
2　経常外増減の部			
(1)　経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)　経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,085,569	△ 472,852	△ 12,612,717
一般正味財産期首残高	△ 275,572,544	△ 275,099,692	△ 472,852
一般正味財産期末残高	△ 288,658,113	△ 275,572,544	△ 13,085,569
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,150,000,000	1,150,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,150,000,000	1,150,000,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	861,341,887	874,427,456	△ 13,085,569

正味財産増減計算内訳表

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合　計
	公１	公２	公３	共通	小計	収１			
	文　化 振興事業	スポーツ 振興事業	埋蔵文化財保存 普及啓発事業			公益目的外への 貸与及び駐車場売店			
Ⅰ 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	2,677,340	2,677,340	0	4,664	0	2,682,004
基本財産受取利息	0	0	0	2,677,340	2,677,340		4,664		2,682,004
特定資産運用益	104,656	281,231	77,355	0	463,242	82,531	6,816	0	552,589
特定資産受取利息	104,656	281,231	77,355		463,242	82,531	6,816	0	552,589
事業収益	349,105,061	1,039,151,579	258,151,279	0	1,646,407,919	277,319,292	3,419,459	0	1,927,146,670
指定管理料収益	331,867,860	1,011,019,862	185,256,131	0	1,528,143,853	276,867,057	3,419,459		1,808,430,369
受託事業収益	0	0	71,626,548	0	71,626,548	0	0		71,626,548
参加料等収益	10,573,201	28,131,717	1,268,600	0	39,973,518	452,235	0		40,425,753
入場料収益	6,664,000	0	0	0	6,664,000	0	0		6,664,000
受取補助金等	16,936,159	48,089,759	0	0	65,025,918	0	0	0	65,025,918
市補助金	16,936,159	48,089,759	0	0	65,025,918	0	0		65,025,918
雑収益	319,052	924,780	151,452	0	1,395,284	265,080	17,330	0	1,677,694
受取利息	980	2,693	504	0	4,177	812	9		4,998
その他雑収入	318,072	922,087	150,948	0	1,391,107	264,268	17,321		1,672,696
経常収益計	366,464,928	1,088,447,349	258,380,086	2,677,340	1,715,969,703	277,666,903	3,448,269	0	1,997,084,875
(2) 経常費用									
事業費	369,717,591	1,101,442,993	258,650,502	0	1,729,811,086	277,666,903		0	2,007,477,989
報酬	200,615	627,719	98,531		926,865	167,930			1,094,795
給料	60,820,110	149,070,241	54,147,223		264,037,574	43,070,361			307,107,935
職員手当等	29,032,087	72,061,006	22,342,852		123,435,945	19,894,968			143,330,913
賞与引当金繰入額	10,837,971	23,811,093	10,041,252		44,690,316	8,359,338			53,049,654
退職給付費用	17,680,599	46,242,358	25,916,912		89,839,869	13,827,781			103,667,650
福利厚生費	18,730,357	46,777,223	17,257,585		82,765,165	13,151,352			95,916,517
賃金	33,550,944	85,829,633	54,760,839		174,141,416	26,022,227			200,163,643
報償費	4,061,131	16,096,663	71,752		20,229,546	40,207			20,269,753

科　　目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合　計
	公１	公２	公３	共通	小計	収１			
	文　化 振興事業	スポーツ 振興事業	埋蔵文化財保存 普及啓発事業			公益目的外への 貸与及び駐車場売店			
旅費交通費	104,864	214,371	450,931		770,166	15,632			785,798
交際費	10,000	5,000	0		15,000	0			15,000
消耗品費	7,720,537	26,502,520	5,974,795		40,197,852	5,313,268			45,511,120
燃料費	1,925,686	5,009,313	609,544		7,544,543	1,625,855			9,170,398
食糧費	146,654	0	0		146,654	0			146,654
印刷製本費	1,825,434	2,387,741	2,775,552		6,988,727	431,578			7,420,305
光熱水費	45,222,727	184,300,007	6,673,314		236,196,048	36,783,731			272,979,779
修繕料	2,090,091	14,052,897	898,029		17,041,017	2,146,706			19,187,723
通信運搬費	1,239,410	3,675,130	1,049,088		5,963,628	778,002			6,741,630
広告掲載料	0	305,360	0		305,360	0			305,360
検査等手数料	1,534,270	10,789,125	462,802		12,786,197	1,942,962			14,729,159
保険料	705,296	4,107,416	568,370		5,381,082	456,135			5,837,217
使用料及び賃借料	9,545,882	10,886,906	23,053,191		43,485,979	3,096,524			46,582,503
工事請負費	4,268,522	14,525,779	1,472,660		20,266,961	3,904,029			24,170,990
原材料費	67,223	3,892,436	475,006		4,434,665	346,813			4,781,478
備品購入費	420,373	2,788,188	181,440		3,390,001	580,865			3,970,866
租税公課	14,089,623	35,941,009	14,542,220		64,572,852	11,296,203			75,869,055
委託費	102,164,513	339,579,184	10,666,383		452,410,080	83,855,630			536,265,710
リース資産減価償却費	1,473,914	1,680,972	3,559,485		6,714,371	478,113			7,192,484
支払利息	248,758	283,703	600,746		1,133,207	80,693			1,213,900
管理費							2,692,455	0	2,692,455
報酬							13,105		13,105
給料							410,725		410,725
職員手当等							276,664		276,664
賞与引当金繰入額							76,674		76,674
退職給付費用							74,567		74,567
福利厚生費							198,578		198,578
賃金							69,406		69,406
報償費							233		233
旅費交通費							334		334
消耗品費							16,010		16,010
印刷製本費							4,071		4,071
修繕料							894		894
通信運搬費							11,008		11,008

科　　目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合　計
	公１	公２	公３	共通	小計	収１			
	文　化振興事業	スポーツ振興事業	埋蔵文化財保存普及啓発事業			公益目的外への貸与及び駐車場売店			
検査手数料							142		142
支払負担金							1,327,198		1,327,198
租税公課							181,945		181,945
委託費							30,901		30,901
経常費用計	369,717,591	1,101,442,993	258,650,502	0	1,729,811,086	277,666,903	2,692,455	0	2,010,170,444
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,252,663	△ 12,995,644	△ 270,416	2,677,340	△ 13,841,383	0	755,814	0	△ 13,085,569
基本財産評価損益等					0				0
特定資産評価損益等					0				0
投資有価証券評価損益等					0				0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,252,663	△ 12,995,644	△ 270,416	2,677,340	△ 13,841,383	0	755,814	0	△ 13,085,569
２　経常外増減の部									0
(1)　経常外収益									0
経常外収益計					0				0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)　経常外費用									0
経常外費用計					0				0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額					0				0
当期一般正味財産増減額	△ 3,252,663	△ 12,995,644	△ 270,416	2,677,340	△ 13,841,383	0	755,814	0	△ 13,085,569
一般正味財産期首残高			9	△ 277,093,296	△ 277,093,287		1,520,743		△ 275,572,544
一般正味財産期末残高	△ 3,252,663	△ 12,995,644	△ 270,407	△ 274,415,956	△ 290,934,670	0	2,276,557	0	△ 288,658,113
Ⅱ　指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	1,150,000,000	1,150,000,000	0	0	0	1,150,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	1,150,000,000	1,150,000,000	0	0	0	1,150,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高	△ 3,252,663	△ 12,995,644	△ 270,407	875,584,044	859,065,330	0	2,276,557	0	861,341,887

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品 ・・・ 定額法によっている。

リース資産・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数残存価格を零とする定額法によっている。

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数と残存価格を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準について

賞与引当金・・・・・・・支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

職員退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

なお、過年度引当不足額を１０年間にわたり分割計上することとしている。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用している。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定　期　預　金	301,977,287	131,411,173	131,358,836	302,029,624
投 資 有 価 証 券	848,022,713	6,890	59,227	847,970,376
小　　計	1,150,000,000	131,418,063	131,418,063	1,150,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
定　期　預　金	564,279,970	615,900,489	658,660,710	521,519,749
投 資 有 価 証 券	49,881,320		6,480	49,874,840
小　　計	614,161,290	615,900,489	658,667,190	571,394,589
合　　計	1,764,161,290	747,318,552	790,085,253	1,721,394,589

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	302,029,624	(302,029,624)	(0)	－
投資有価証券	847,970,376	(847,970,376)	(0)	－
小　計	1,150,000,000	(1,150,000,000)	(0)	－
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	521,519,749	(0)	(0)	(521,519,749)
投資有価証券	49,874,840	(0)	(0)	(49,874,840)
小　計	571,394,589	(0)	(0)	(571,394,589)
合　計	1,721,394,589	(1,150,000,000)	(0)	(571,394,589)

4. 担保に供している資産

該当なし

５．固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什　器　備　品	3,323,761	3,323,752	9
リ ー ス 資 産	77,211,053	34,864,384	42,346,669
合　　計	80,534,814	38,188,136	42,346,678

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし

7. 保証債務
該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	帳簿価格	時価	評価損益
基本財産			
利付国債10年 第332回 伊予銀行	117,958,753	121,118,670	3,159,917
利付国債10年 第337回 愛媛銀行	112,033,755	114,347,025	2,313,270
利付国債10年 第337回 伊予銀行	117,632,943	120,061,825	2,428,882
大阪府公債10年 第427回 伊予銀行	200,000,000	201,800,000	1,800,000
大阪府公債10年 第436回 伊予銀行	100,041,125	101,010,000	968,875
北海道公債10年 平成29年第13回 愛媛銀行	200,303,800	202,140,000	1,836,200
小　　計	847,970,376	860,477,520	12,507,144
特定資産退職給付引当資産			
利付国債10年 第332回 伊予銀行	49,874,840	51,210,905	1,336,065
小　　計	49,874,840	51,210,905	1,336,065
合　　計	897,845,216	911,688,425	13,843,209

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
文化・スポーツ振興財団管理運営補助金	松山市	0	63,209,753	63,209,753	0	－
文化・スポーツ振興事業補助金	松山市	0	1,816,165	1,816,165	0	－
合　　計		0	65,025,918	65,025,918	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし

11. 関連当事者との取引の内容
該当なし

12. リース取引関係
(1) 所有権移転外ファイナンス・リース取引
リース資産の内容
公益法人会計システム・起案システム及びパソコン等　（什器備品、ソフトウェア）
インターネットパソコン等（什器備品、ソフトウェア）
グループウェア及びパソコン等（什器備品、ソフトウェア）
人事給与システム及びパソコン等　（什器備品、ソフトウェア）
(2)所有権移転ファイナンスリース取引
リース資産の内容
プラネタリウムビデオシステム（工具器具及び備品）

13. 重要な後発事象
該当なし

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	704,420,012	103,742,217	118,480,201	0	689,682,028
賞与引当金	54,506,540	53,126,328	54,506,540	0	53,126,328

財　産　目　録

令和２年３月３１日現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）			
現金	手元保管	運転資金	2,009,240
預金	普通預金	運転資金	250,462,963
	伊予銀行　松山市役所支店	まとめ口座	282,130
	伊予銀行　松山市役所支店	コミュニティセンター管理口座	49,876,710
	愛媛銀行　松山市役所支店	中央公園管理口座	50,511,590
	伊予銀行　松山市役所支店	市民会館管理口座	18,246,489
	伊予銀行　松山市役所支店	埋蔵文化財センター管理口座	21,222,348
	伊予銀行　松山市役所支店	埋蔵文化財センター発掘口座	12,372,326
	愛媛銀行　松山市役所支店	野外活動センター管理口座	31,847,926
	愛媛銀行　北条支店	北条スポーツセンター・北条体育館管理口座	13,932,199
	伊予銀行　松山市役所支店	補助金管理口座	7,424,551
	伊予銀行　松山市役所支店	一般管理口座	28,679,478
	伊予銀行　松山市役所支店	預り金口座	8,646,881
	伊予銀行　松山市役所支店	コミュニティセンター使用料口座	4,684,460
	伊予銀行　松山市役所支店	市民会館使用料口座	366,520
	伊予銀行　松山市役所支店	中央公園使用料口座	201,970
	伊予銀行　松山市役所支店	野外活動センター使用料口座	69,100
	伊予銀行　松山市役所支店	北条スポーツセンター使用料口座	100,610
	愛媛銀行　松山市役所支店	コミュニティセンター使用料口座	1,241,500
	愛媛銀行　松山市役所支店	中央公園使用料口座	514,495
	愛媛銀行　松山市役所支店	野外活動センター使用料口座	222,140
	愛媛銀行　北条支店	北条スポーツセンター使用料口座	19,540
特定資産	普通預金	職員の退職金支払の財源としている。	0
退職給付引当資産	伊予銀行 松山市役所支店		0
未収金		埋蔵文化財発掘調査委託料 外	7,221,753
前払金		事業にかかる普通傷害保険	2,016,870
貯蔵品		切手、収入印紙	361,013
流動資産合計			262,071,839

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
（固定資産）			
基本財産			1,150,000,000
定期預金		公益目的保有財産であり、運用益を公益事業財源として使用している。	302,029,624
	伊予銀行 松山市役所支店		153,839,889
	愛媛銀行 松山市役所支店		148,189,735
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を公益事業財源として使用している。	847,970,376
	利付国債10年 第332回伊予銀行松山市役所支店		117,958,753
	利付国債10年 第337回伊予銀行松山市役所支店		117,632,943
	利付国債10年 第337回愛媛銀行松山市役所支店		112,033,755
	第427回大阪府公債		200,000,000
	第436回大阪府公債		100,041,125
	平成29年13回北海道公債		200,303,800
特定資産			571,394,589
退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金支払の財源として積み立てている。	521,519,749
	伊予銀行 松山市役所支店		154,250,133
	愛媛銀行 松山市役所支店		367,269,616
	投資有価証券		49,874,840
	利付国債10年 第332回伊予銀行松山市役所支店		49,874,840
その他の固定資産			42,346,678
什器備品	測量機器等９点	公益目的保有財産であり、埋蔵文化財保存・普及啓発事業で使用している。	9
リース資産	会計システム・プラネタリウムビデオシステム	公益目的保有財産であり財団全体で使用している。	42,346,669
固定資産合計			1,763,741,267
資産合計			2,025,813,106
（流動負債）			
未払金		公益目的事業に供する光熱水費他	254,355,673
前受金		公益目的事業に供する参加者負担金	11,434,500
預り金		公益目的事業に供する社会保険料他	14,073,264
仮受金		公益目的事業に供する施設使用料の未払	98,864,713
リース債務	会計システム・プラネタリウムビデオシステム	公益目的事業に供する資産の債務	10,430,307
賞与引当金	職員に係るもの	職員に対する賞与の支払いに備えたもの	53,126,328
流動負債合計			442,284,785
（固定負債）			
退職給付引当金	職員に係るもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	689,682,028
リース債務	会計システム・プラネタリウムビデオシステム	公益目的事業に供する資産の債務	32,504,406
固定負債合計			722,186,434
負債合計			1,164,471,219
正味財産			861,341,887

監　査　報　告　書

監　査　報　告　書

令和 2 年 5 月 7 日

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
理事長　　本 田 元 広　　殿

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

監事　山邊 彰三

監事　原田 光雄

私たち監事は、平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの事業年度における理事の職務執行の監査を行い、次のとおり報告する。

1　監査の方法及びその内容

(1)　業務監査については、理事及び使用人から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

(2)　会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

2　監査意見

(1)　事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

(2)　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(3)　収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。